

項目		特記事項	項目	特記事項	アスベスト含有物の取扱い	暴力団等不当介入に関する事項
① ガス種別		・都市ガス（供給者名：発熱量 MJ/m3（N）） ② 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ③ 液化石油ガス（１）一般：配管用炭素鋼管（白） （２）地中：ポリエチレン管 外面被覆鋼管（VL）	1 工事の保険	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） 下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済証貼入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。	① 一般事項 労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。 ② アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。 石綿検査手前規制及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。 ③ 石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。 ・アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。 ・アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面で行うこと。	
3 充てん容器		別途（ 50kg ）×4本	2 建設共済等	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） 下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済証貼入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。	2 アスベスト含有建材の処理工事 アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ・行わない アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ・行わない アスベスト含有建材除去後の仕上げ ・行う ・行わない	＜喫煙に関する事項＞ 学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。 ＜現場代理人に関する事項＞ 工事製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。 ＜随時検査＞ 設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査受検第8条第6項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示に従い受検すること。
4 集合装置		標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による 4本組。	3 工事実績情報の登録	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） 下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済証貼入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。	③ アスベストの含有調査 施工箇所及び工法事前調査（有資格者）※図表 調査結果報告書等の写真 分析調査 ・定性分析 ・定量分析 ※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。 ※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。 調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。	
5 転倒防止等		標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（ ・（a） ・（b））による。	4 施工体制台帳の提出	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） 下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済証貼入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。	4 アスベスト含有吹付け材の除去 アスベスト含有吹付け材の有無 ・有 ・無 除去吹付け材（ ）含有場所（ ） 吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う アスベスト粉じん濃度測定 ※行う 表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定	個人情報の取り扱いに関する事項（基本事項） 第1 この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。 （施工者の義務） 第2 乙及び乙の契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第79号。以下「法」という。）第67条に規定する義務を負う。 第3 乙は、この契約による工事に伴って個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。 （秘密の保持） 第3 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。 第4 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。 （適正な管理） 第4 乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。 第2 乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。 第3 管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。 第4 四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実際に調査することができるとするものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。 （収集の制限） 第5 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工する手段に、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。 （再提供の禁止） 第6 乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。 第2 乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。 第3 前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。 （複製・複製の禁止） 第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複製し、又は複製してはならない。 （持ち出しの禁止） 第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複製又は複製したものを含む。第3において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。 第2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。 第3 前項の場合において、乙は、資料等に施設又は暗号化等をして関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びび損の防止その他適切な管理を行わなければならない。 （資料等の返還） 第9 乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合は除く。 第2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。 （1）紙媒体 シュレッダーによる裁断 （2）電子媒体 データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕 乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲は指示により、又は又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合は除く。 第4 前項ただし書の規定により、甲と乙が資料等を廃棄し、又は消去する場合には、乙は、当該資料等が廃棄し、又は消去されたことを直接確認しなければならない。 （研修・教育の実施） 第10 甲は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。 （苦情の処理） 第11 乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。 （定期報告及び事故発生時における報告） 第12 乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。 第2 乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。 （監査及び検査） 第13 甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。 第2 甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に關して必要な指示をすることができる。 （契約解除及び損害賠償） 第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。
6 メーカー		・観メーター（貸与品）（ ・直読式 ・パルス式（パルス発信器は ・買い取り）） ・子メーター（買い取り）（ ・直読式 ・パルス式）	5 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項	・建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出） ・請負業者賠償責任保険（保険証の写しを提出） 保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） 下記の制度について加入すること。 ・法定外労災補償制度（加入証明書の写しを提出） ・建設業退職金共済制度（掛金収納書を提出） 共済証貼入額 請負額の0.5/1000以上 ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。 ※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。 ※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。	5 アスベスト含有仕上塗材の除去 アスベスト含有仕上塗材の有無 ・有 ・無 除去仕上塗材（ ）含有場所（ ） 仕上アスベストの施工数量調査 ※行う アスベスト粉じん濃度測定 ※行う 表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法	＜喫煙に関する事項＞ 学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。 ＜現場代理人に関する事項＞ 工事製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。 ＜随時検査＞ 設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査受検第8条第6項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督員の指示

衛生凡例

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	給水管		給水栓		フレキシブル継手		スパイラルダクト
	汚水管		給水栓		床上掃除口		天井換気扇・排気ファン
	雑排水管		混合水栓		排水金物		吹出・吸込口
	通気管		仕切弁				パイプフード
	既設配管						

衛生器具表

註： 1）衛生器具製造者の違いにより発生する工事は、本工事の範囲内とし、選定した衛生器具に適した施工を行う。 3）機器更新部分について給水管を十分洗浄の上で、錆びを出した上で施工を行うこと。
2）床上掃除口（COA）は化粧型でも可とする。

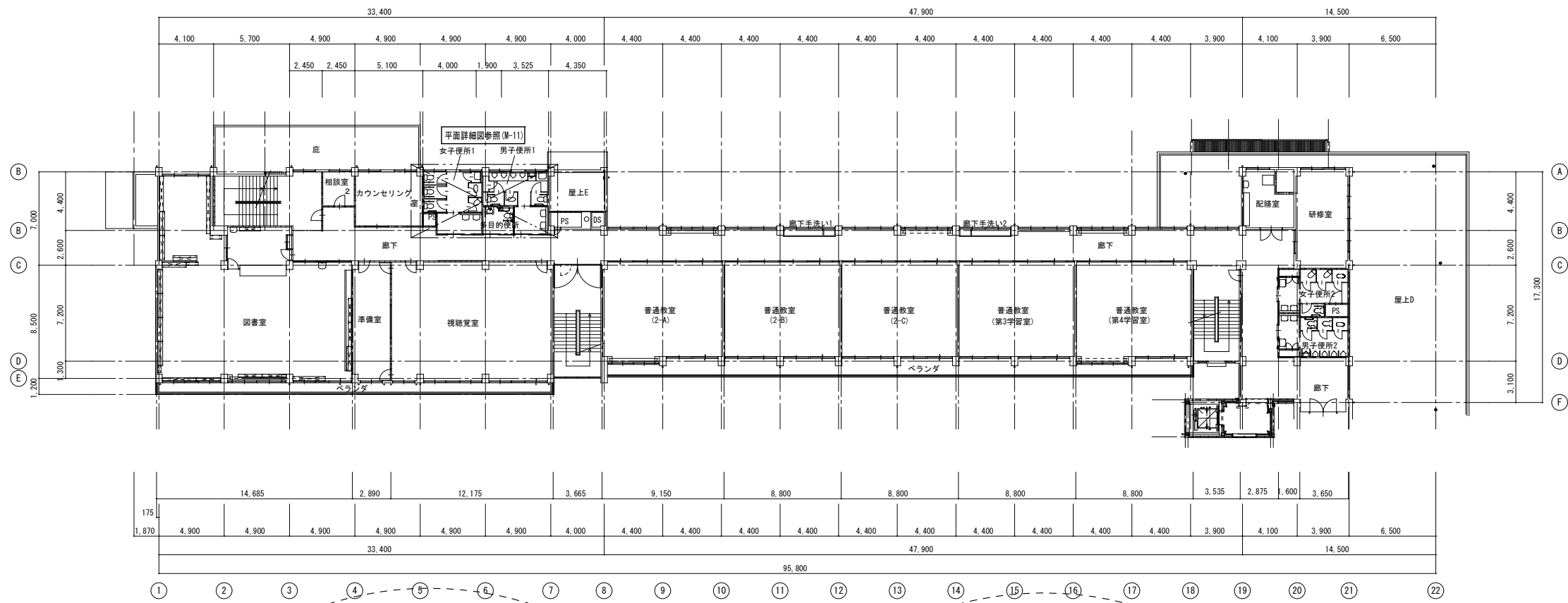
器具名称	参考（TOTO）	参考（LIXIL）		合 計	1階								2階		3階	
					職員男子便所	職員女子便所	校長室	職員室	湯沸室	保健室	廊下西側手洗い	廊下東側手洗い	昇降口前手洗い	男子便所1	女子便所1	男子便所1
腰掛便器	CS597BMS	BC-P20HU	陶器製密結タンク（内部金具同梱：蓋固定、手洗無し）、普通便座（ソフト閉止）、床給水、セット金具一式	4										2		2
腰掛便器：コーナータイプ	CS510BM	該当品なし	陶器製密結タンク（内部金具同梱：蓋固定、手洗無し）、普通便座（ソフト閉止）、床給水、セット金具一式	2									1		1	
ワンタッチ紙巻器	YH117	CF-32H	本体（SUS製）	6									1	2	1	2
手すり（樹脂被覆タイプ）L型	T112CL10	KF-920AE70D12J	寸法：700×700×120D、取付金具共	4										2		2
自動洗浄小便器	UFS910	U-A51AP	AC100V、バックハンガー	12	2									5		5
小便器手すり（樹脂被覆タイプ）	T112CU22	KF-701AEJ	取付金具共	3	1								1		1	
壁掛洗面器	L250CM	L-176UAN	台付自動水栓（AC100V・単水栓）、取付金具、壁排水金具（Pトラップ）	13	1	2	1	1					2	2	2	2
洗濯機パン	PWP740N2W	PF-7464AC	740×640：横引きトラップ、セット金具一式	1						1						
パブリック用流し/掃除流し	SK22A	S-202A	横水栓、床排水金具（Sトラップ）、アングル形止水栓、リムカバー、他必要金具一式	2										1		1
化粧鏡	YM3545FE	KF-3545A	寸法：350W×450H（相当）、盗難防止形（耐食鏡）	5	1	2	1	1								
化粧鏡	YM4560FE	KF-4560A	寸法：450W×600H（相当）、盗難防止形（耐食鏡）	1						1						
化粧棚	YAK600CR	H-402	陶器製	1	1											
シングルレバー混合水栓	TKS05312J	SF-WM435SY		2						2						
洗濯機用混合水栓（緊急止水栓付）	TW21R	SF-WL63RQA		1						1						
横水栓（泡沫・レバー式）	T123BQ13	LF-7KRZF-13	ステンレスパイプ13A共	3							1	1	1			
胴長横水栓（泡沫）	T23B13V109	LF-7RF-13		19							8	8	3			
電気温水器：飲料用	REKB25A2SW35D	EHPM-KB25ECV3	貯湯量25L（AC200V：2.0kW）、電気温水器、耐震用脚、シングル混合水栓、排水ホッパー、止水栓、他付属品一式	1						1						

衛生機器表

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		設置場所	台数	備 考
			φ-V	W			
GW-1	ガス給湯器	型式： 屋外壁掛形20号：LPG用 （潜熱回収型） ガス消費量： 36.7kW ※リモコン配線は既設流用とする。 付属品：給湯器用メインリモコン、配管カバー、止水栓（チャッキ付）、可とう管コック、金属可とう管、SUS製フレキチューブ×2他標準付属品共	1φ-100V	146.0	1階保健室屋外	1	
GW-2	ガス給湯器	型式： 屋外壁掛形24号：LPG用 （潜熱回収型） ガス消費量： 44.2kW ※リモコン配線は既設流用とする。 付属品：給湯器用メインリモコン×2、配管カバー、止水栓（チャッキ付）、可とう管コック、金属可とう管、SUS製フレキチューブ×2他標準付属品共	1φ-100V	197.0	1階男子更衣室屋外	1	
HB-1A	屋内消火栓格納箱：立型	型式： 1号 総合型 埋込型（消防認定品） 指定色焼付塗装 付属品：消火栓弁40A、噴霧切替ノズル、ホース掛け、（ホースは既設再利用） 他付属品共 ※表示灯・発信機は電気工事			1階廊下	1	
HB-1B	屋内消火栓格納箱：横型	型式： 1号 総合型 露出型（消防認定品） 指定色焼付塗装 付属品：消火栓弁40A、噴霧切替ノズル、ホース掛け、（ホースは既設再利用） 他付属品共 ※表示灯・発信機は電気工事			1階廊下	1	
HB-1B	屋内消火栓格納箱：立型	型式： 1号 総合型 露出型（消防認定品） 指定色焼付塗装 付属品：消火栓弁40A、噴霧切替ノズル、ホース掛け、（ホースは既設再利用） 他付属品共 ※表示灯・発信機は電気工事			1階廊下	1	
電気容量等は参考数値とする。							

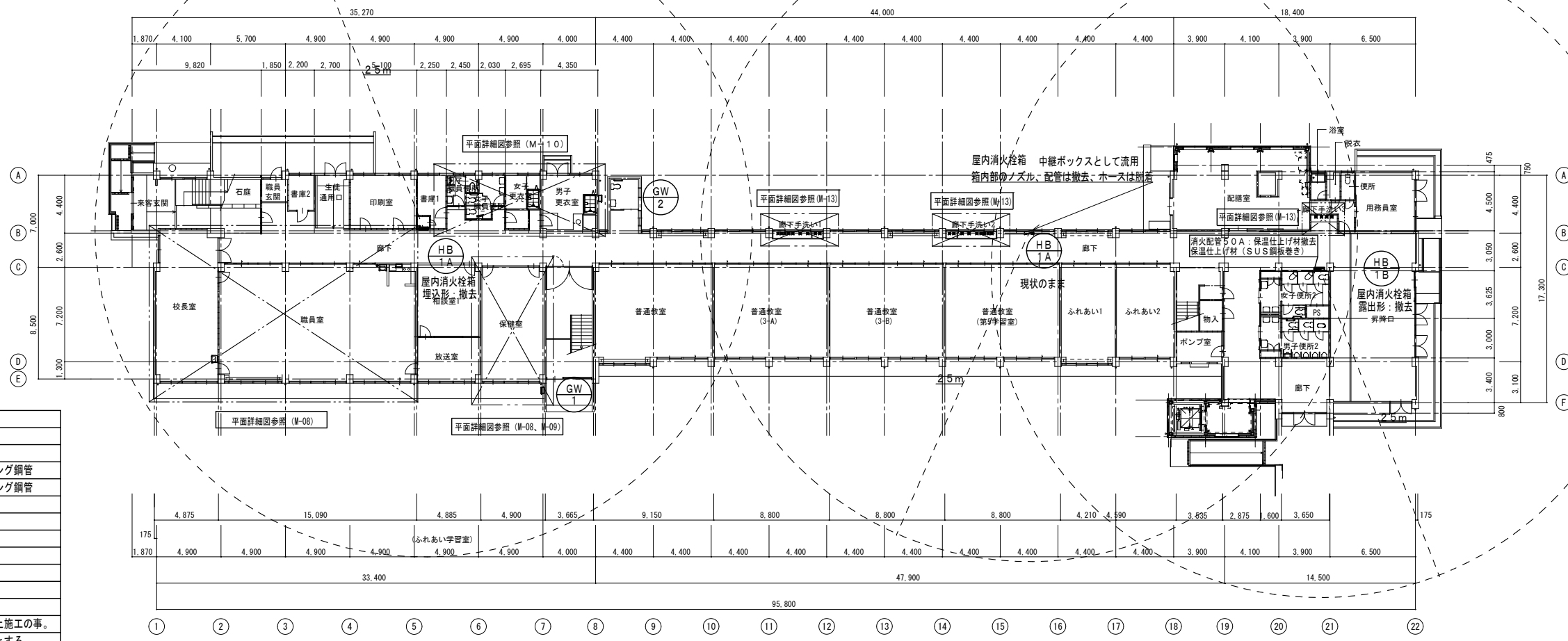
※ 配管撤去後の不要な穴埋め補修
衛生器具撤去後の穴埋め、補強、補修を行う。

トイレ改修に伴い、適切に区画貫通処理を行うこと。



消火栓を更新する際には消火ホースは脱着すること。

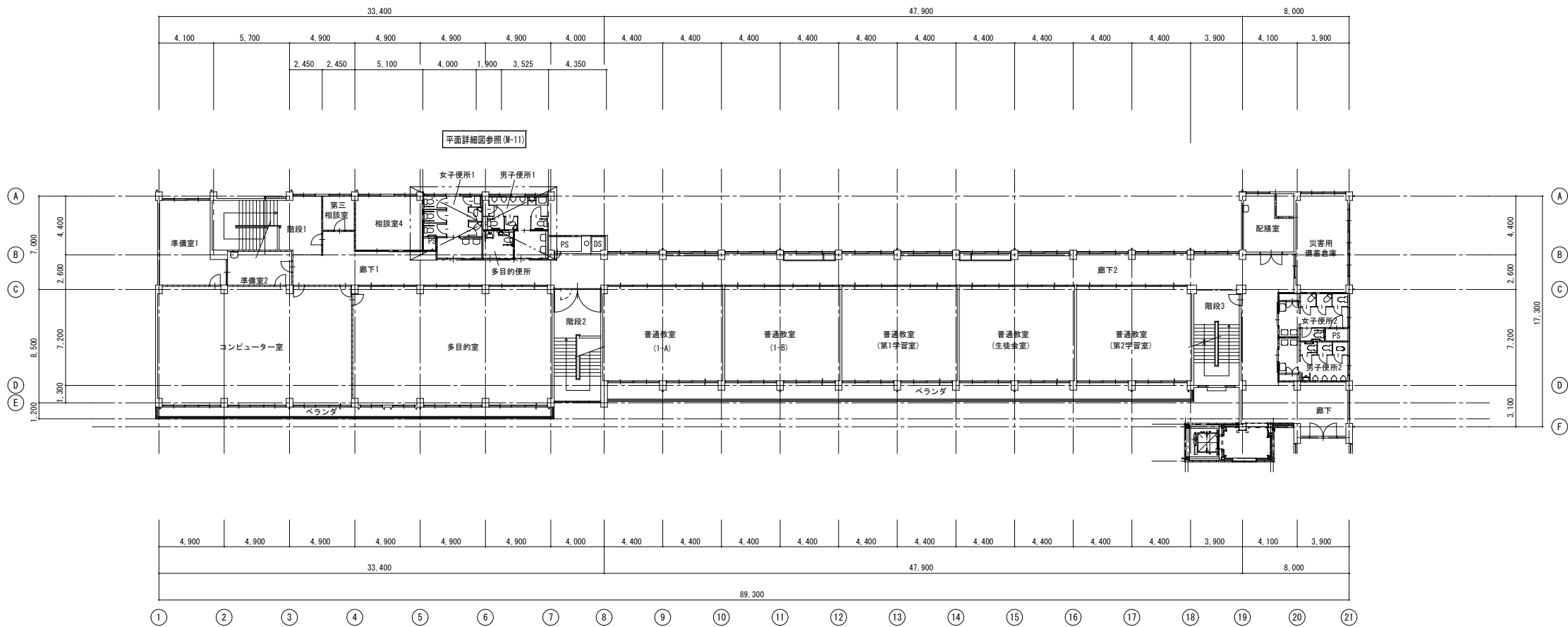
2階平面図（改修前） S=1:200



1階平面図（改修前） S=1:200

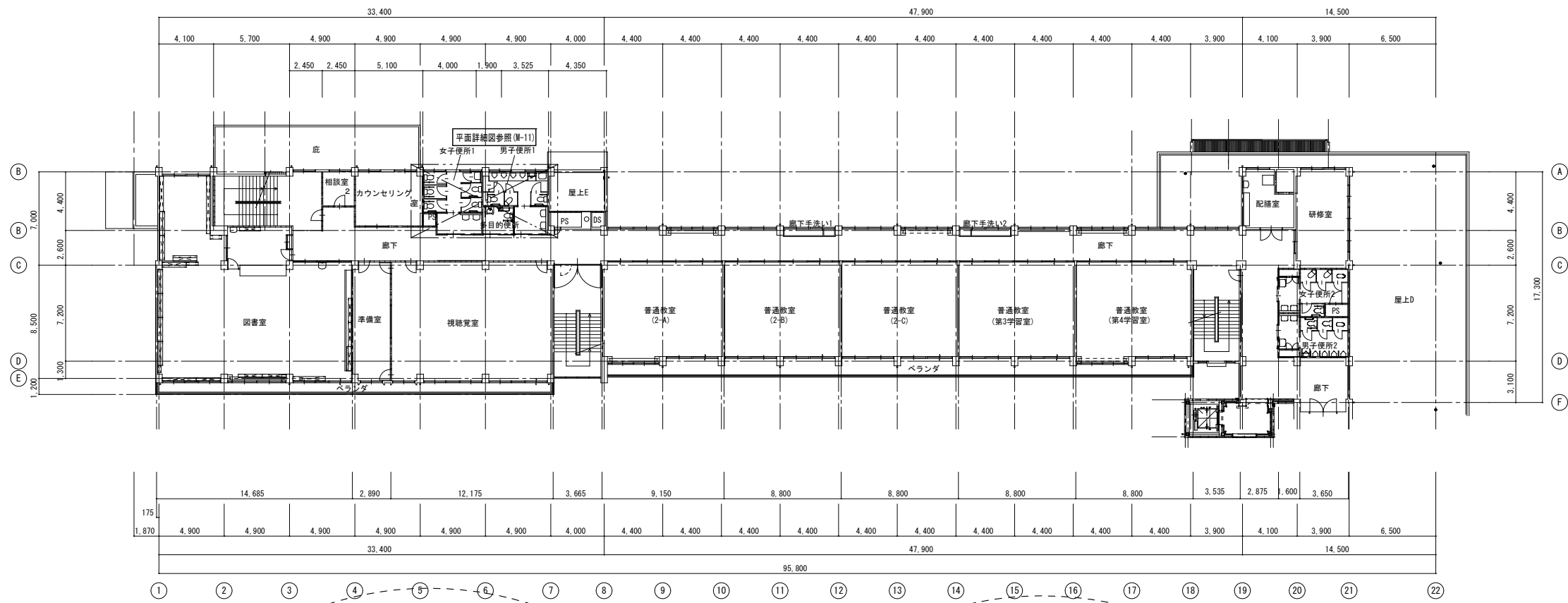
※共通：屋内消火栓箱のホース、ノズル、保掛けは脱着とする。

撤去工事凡例	
	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
給水管：その他 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
排水管：硬質塩化ビニル管VP	
通気管：硬質塩化ビニル管VP	
排水器具接続管：排水用鉛管LP	
給湯管：耐熱ライニング鋼管	
ガス管：埋設管 外面被覆鋼管	
ガス管：その他 配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管VP	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁様の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石綿が含まれている為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

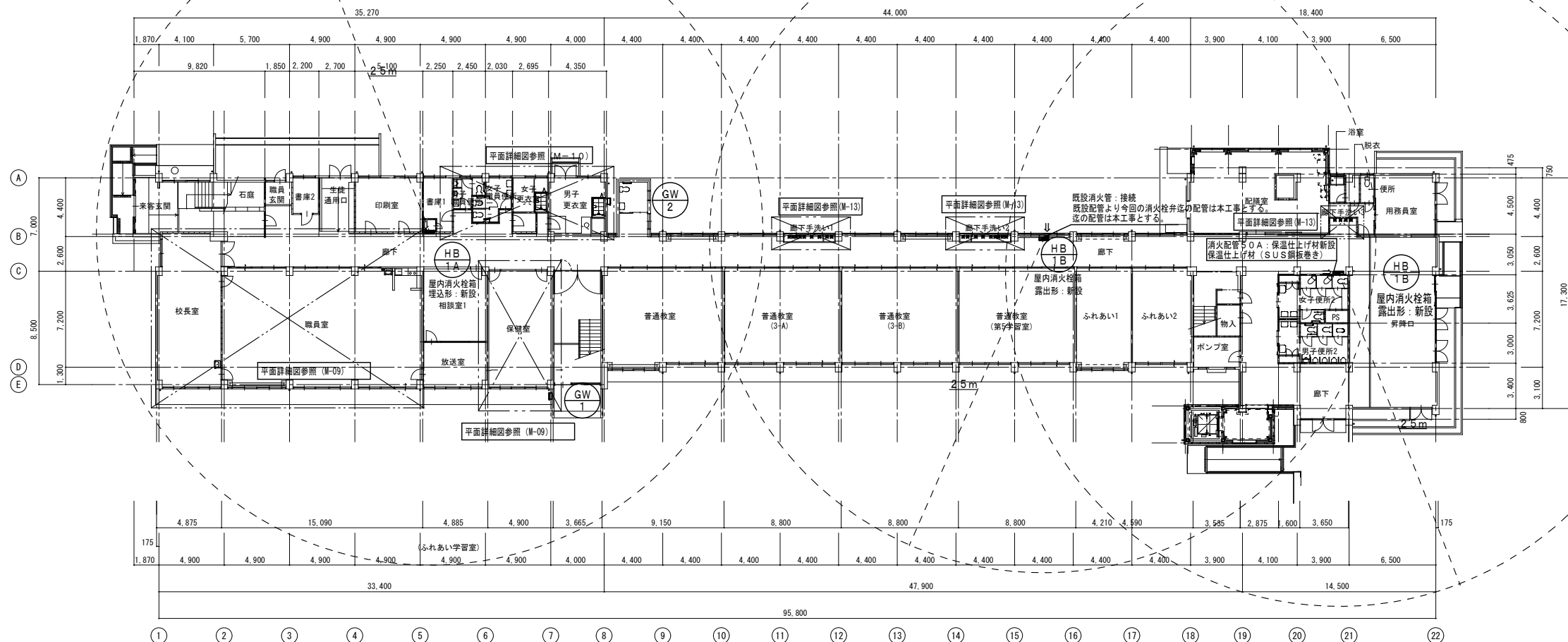


3階平面図 (改修前) S=1:200

撤去工事凡例	
——	今回撤去工事を示す。
- - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
給水管：その他 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
排水管：硬質塩化ビニル管VP	
通気管：硬質塩化ビニル管VP	
排水器具接続管：排水用鉛管LP	
給湯管：耐熱ライニング鋼管	
ガス管：埋設管 外面被覆鋼管	
ガス管：その他 配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管VP	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石綿が含有している為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	



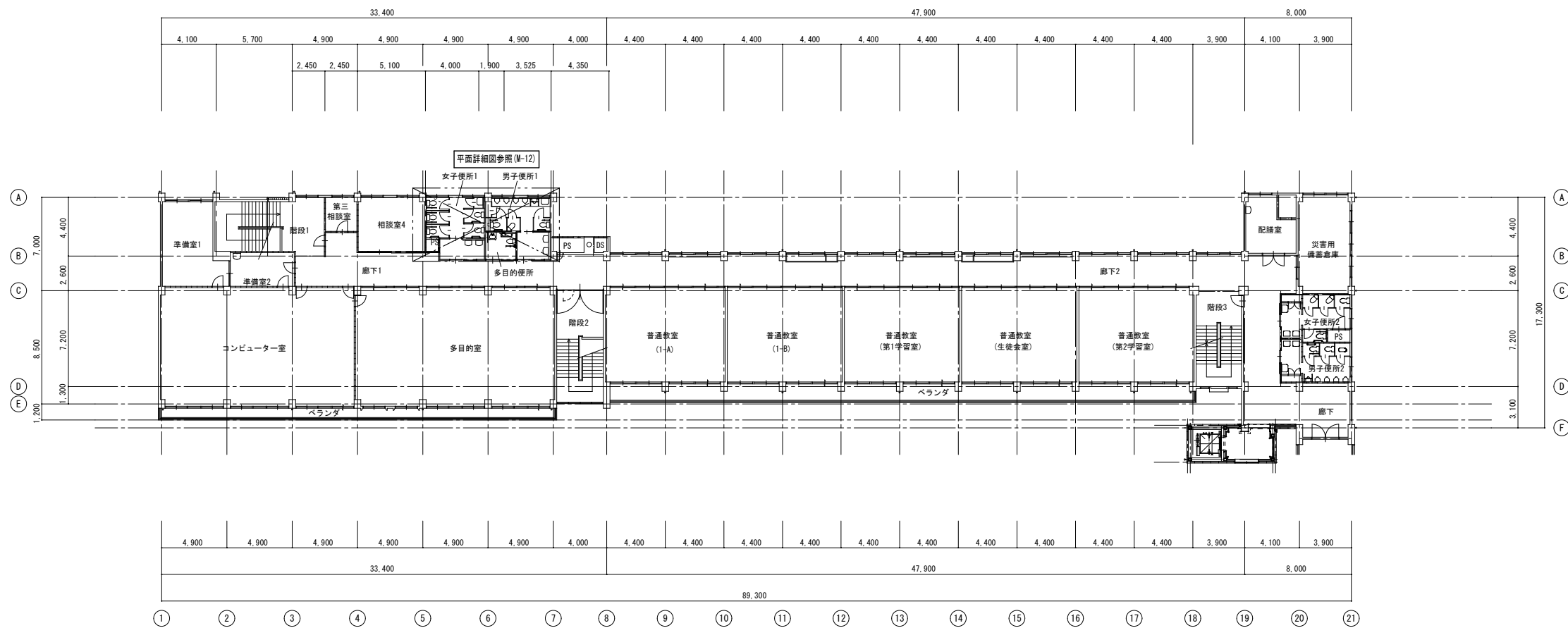
2階平面図(改修後) S=1:200



1階平面図(改修後) S=1:200

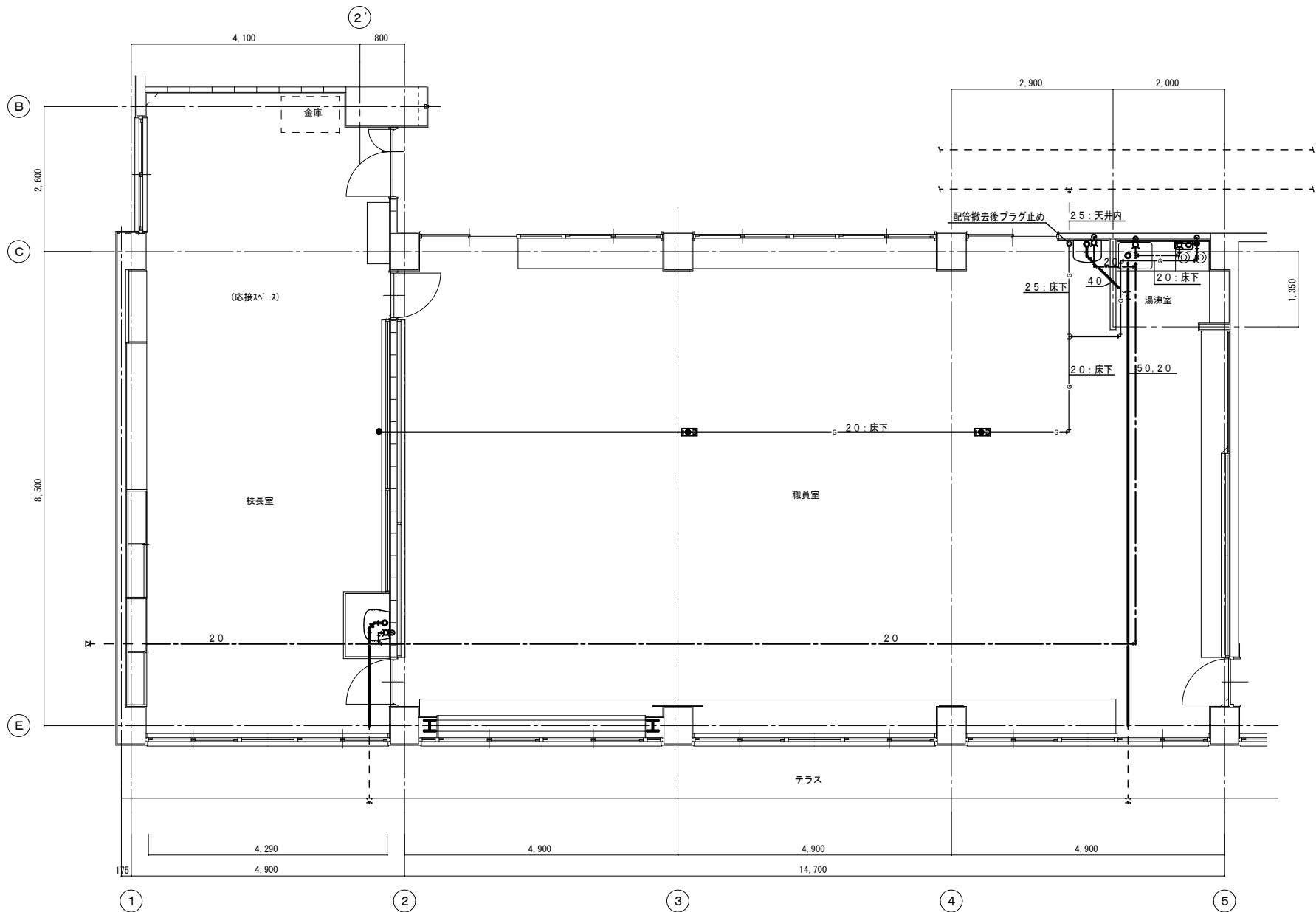
※共通：屋内消火栓箱のホースは脱着とする。

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	給水配管
	排水配管
	通気配管
	給湯配管
	ガス配管
	消火配管
	既設のままを示す
	給水栓
	掃除口
	排水金物
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

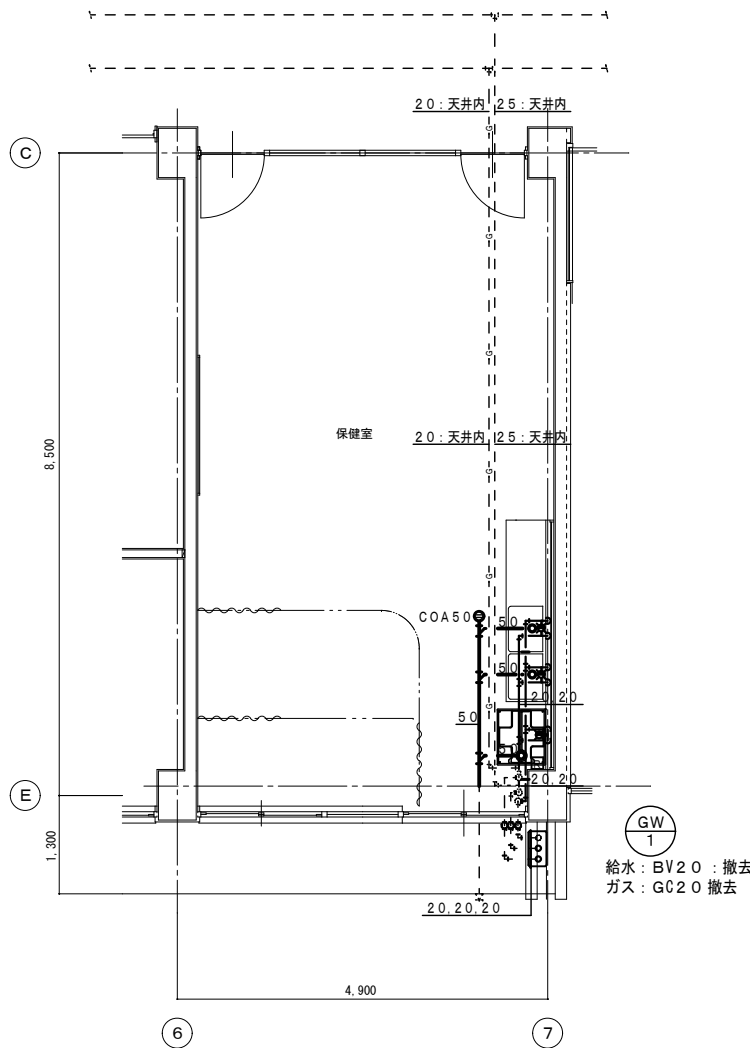


3階平面図（改修後） S=1:200

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	給水配管
	排水配管
	通気配管
	給湯配管
	ガス配管
	消火配管
	既設のままを示す
	給水栓
	掃除口
	排水金物
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	



職員室・校長室平面詳細図：改修前

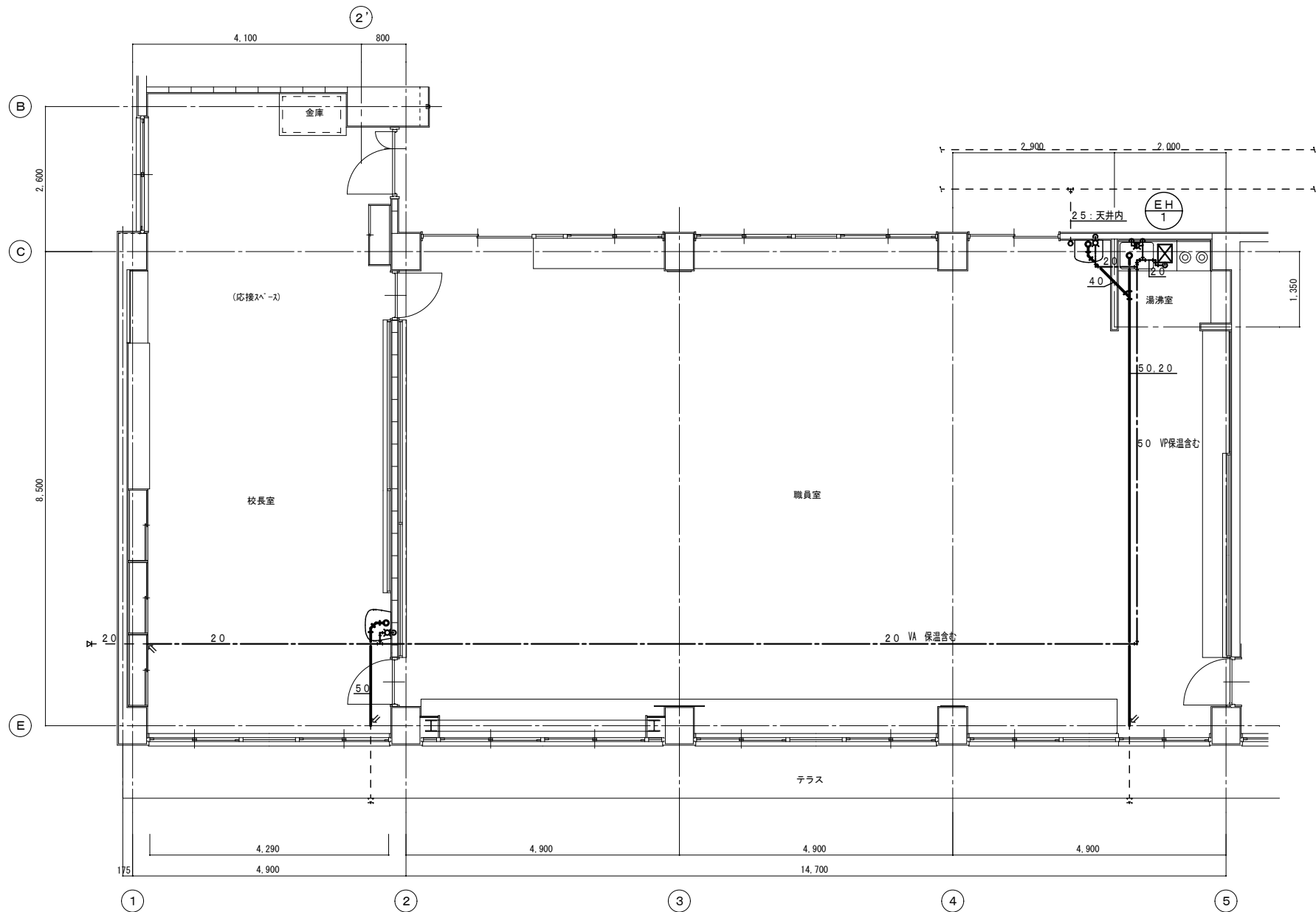


保健室平面詳細図：改修前

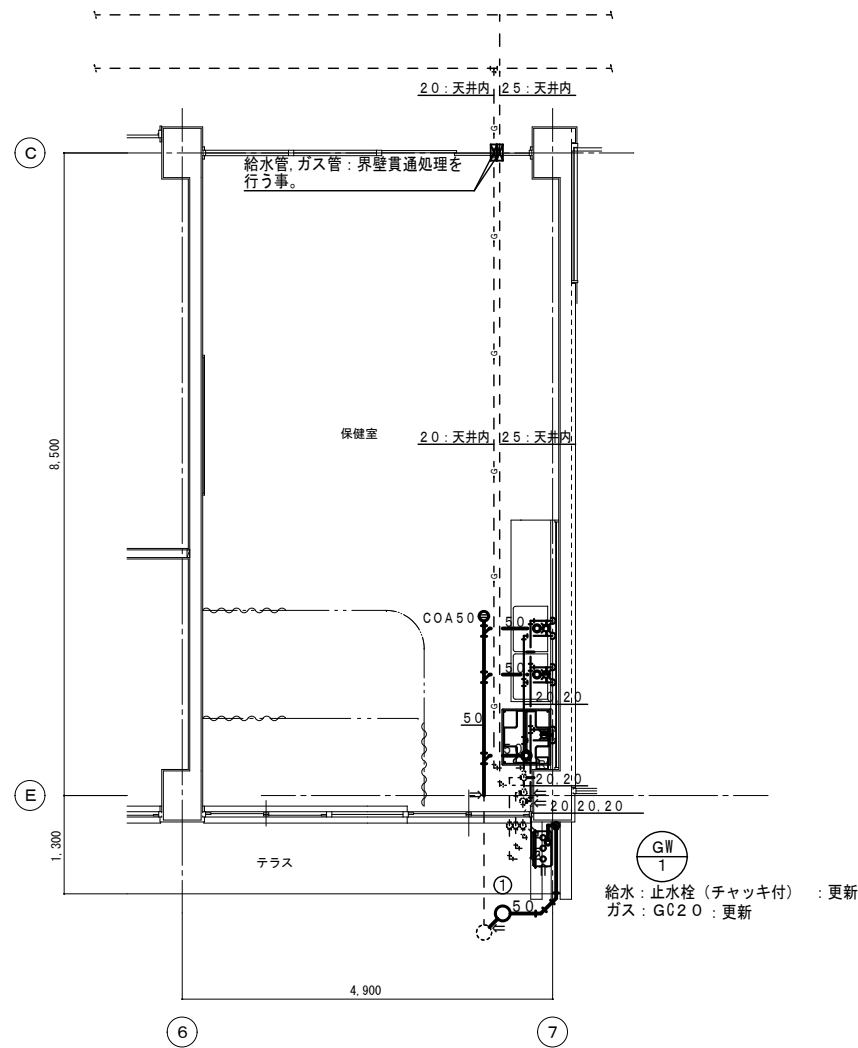
撤去工事凡例	
	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管	給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管
給水管：その他	給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管
排水管：硬質塩化ビニル管	V P
通気管：硬質塩化ビニル管	V P
排水器具接続管：排水用鉛管	L P
給湯管：耐熱ライニング鋼管	
ガス管：埋設管	外面被覆鋼管
ガス管：その他	配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管：硬質塩化ビニル管	V P
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁様の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石棉が含有している為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

衛生器具類撤去一覧表		校 長 室	職 員 室
衛生器具及び付属品			
洗面器	水栓、付属品共	1	1
化粧棚		1	1
化粧鏡		1	1
湯沸器 5号元止め式	付属品共		1
流し水栓			1
床埋めガスコック	埋込ボックス共	1	2

衛生器具類撤去一覧表		
衛生器具及び付属品		保健室
洗濯機パン：740×640：付属品共		1
シングルレバー混合水栓		2
洗濯機用混合水栓		1
GW－1 ガス給湯器 LPG用 屋外壁掛形20号		1
LPGガス消費量：41.6kW：付属品共		
給水接続：フレキシブルチューブは撤去		
ガス接続：フレキシブルチューブは撤去		
鏡		1



職員室・校長室平面詳細図：改修後



保健室平面詳細図：改修後

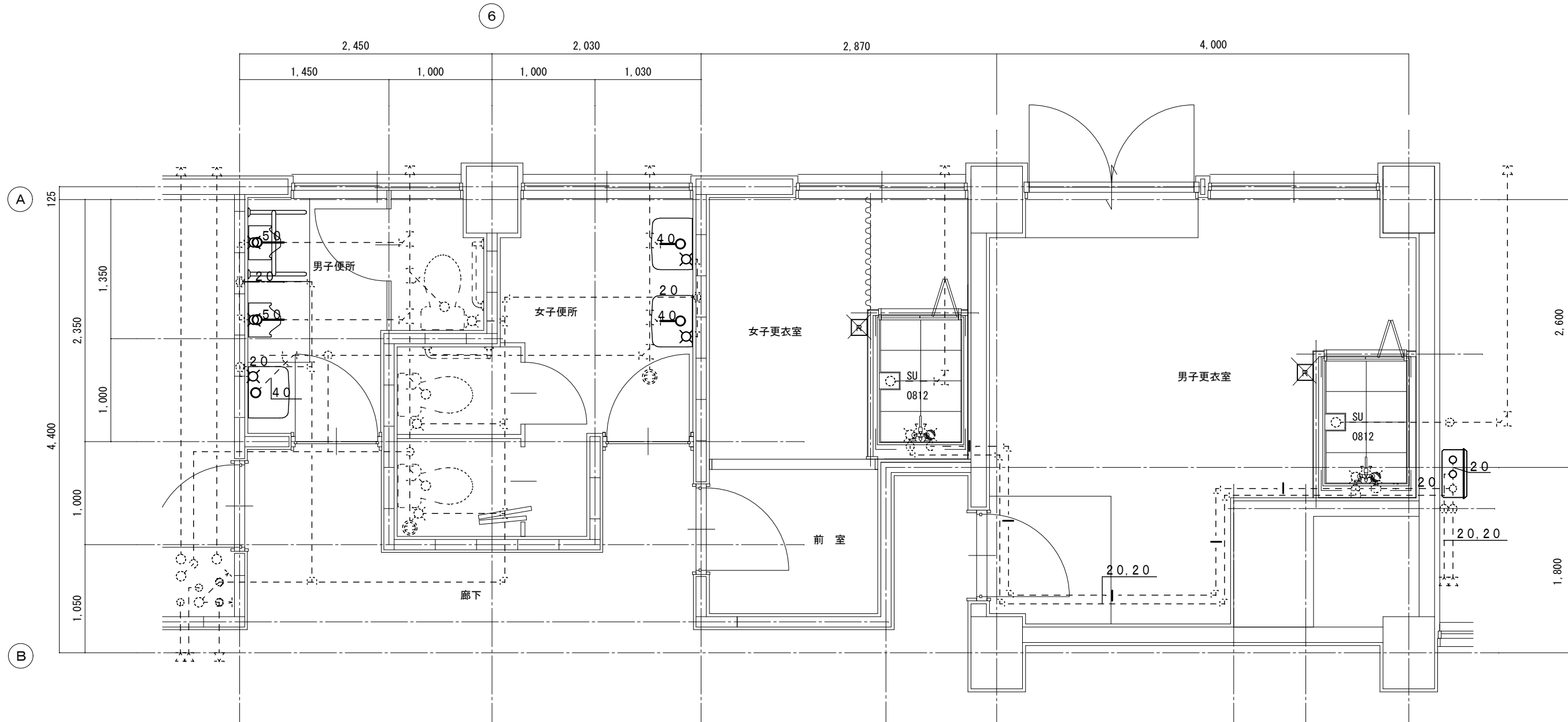
改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	給水配管
	排水配管
	通気配管
	給湯配管
	ガス配管
	消火配管
	既設のままを示す
	給水栓
	掃除口
	排水金物
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

GW-1 ガス給湯器接続箇所は給水：フレキシブルチューブ、ガス：フレキシブルチューブ	
メーカー付属品とする。	
	給湯器リモコン

新設：樹リスト				
記号	名称	種別	現状地盤管底	備考
1	汚水小口径樹：トラップ樹	塩ビ製樹 45L 100-200	-300	塩ビ製蓋

衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品	男子職員便所	女子職員便所	男子更衣室屋外
壁掛ストール小便器 他付属品共	2		
小便器用手すり 他付属品共	1		
洗面器 水栓, 他付属品共	1	2	
GW-2 ガス給湯器: 屋外壁掛形24号 他付属品共			1
給水接続: フレキシブルチューブは撤去			
ガス接続: フレキシブルチューブは撤去			
鏡	1	2	
化粧棚	1	2	



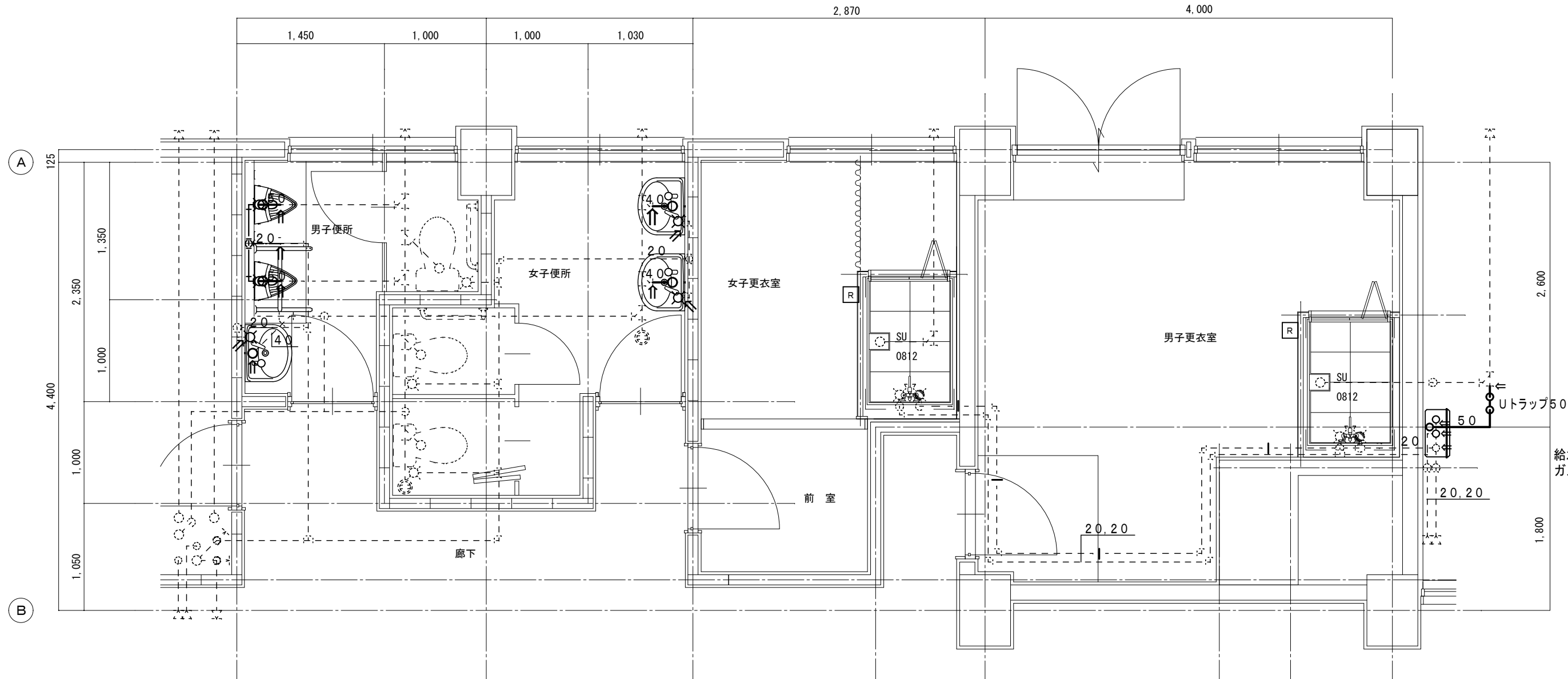
1階 職員便所平面詳細図: 改修前

GW
2

給水: BV20 : 撤去
ガス: GC20 : 撤去

撤去工事凡例

———	今回撤去工事を示す。
-----	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管: 埋設管	給水用水道用硬質塩化ビニリング鋼管
給水管: その他	給水用水道用硬質塩化ビニリング鋼管
排水管: 硬質塩化ビニル管VP	
通気管: 硬質塩化ビニル管VP	
排水器具接続管: 排水用鉛管LP	
給湯管: 耐熱ライニング鋼管	
ガス管: 埋設管	外面被覆鋼管
ガス管: その他	配管用炭素鋼鋼管
屋外排水管: 硬質塩化ビニル管VP	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁棟の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石綿が含まれている為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	



1階 職員便所平面詳細図: 改修後

GW-2 ガス給湯器接続箇所は給水: フレキシブルチューブ、ガス: フレキシブルチューブとする。

[R] 給湯器リモコン

GW
2

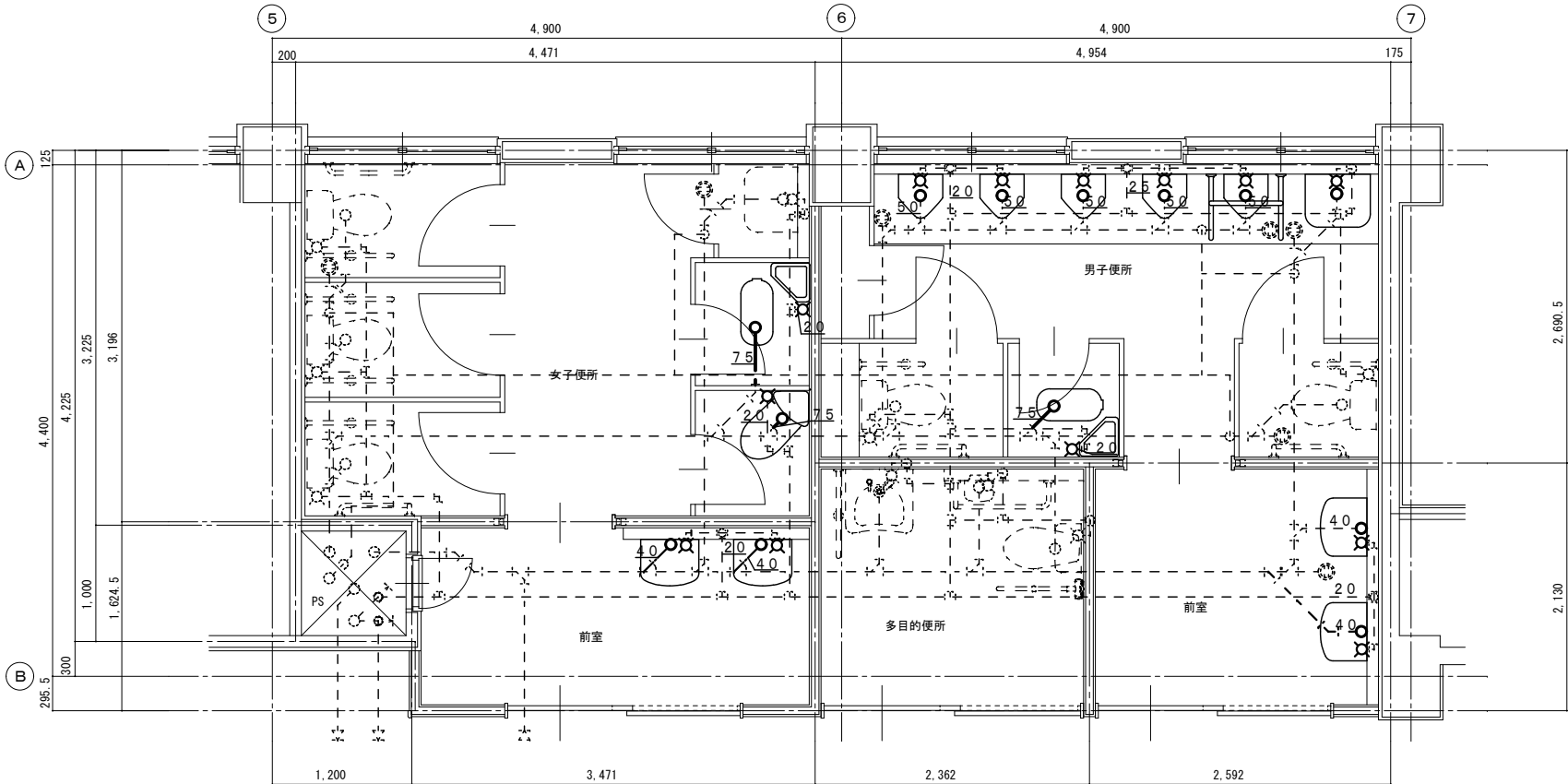
給水: 止水栓 (チャッキ付) : 更新
ガス: GC20 : 更新

改修工事凡例

———	今回施工工事を示す
———	給水配管
———	排水配管
-----	通気配管
——I——	給湯配管
——G——	ガス配管
——X——	消火配管
-----	既設のままを示す
⊗	給水栓
—⊙—	掃除口
—●—	排水金物
≡	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

衛生器具類撤去一覧表

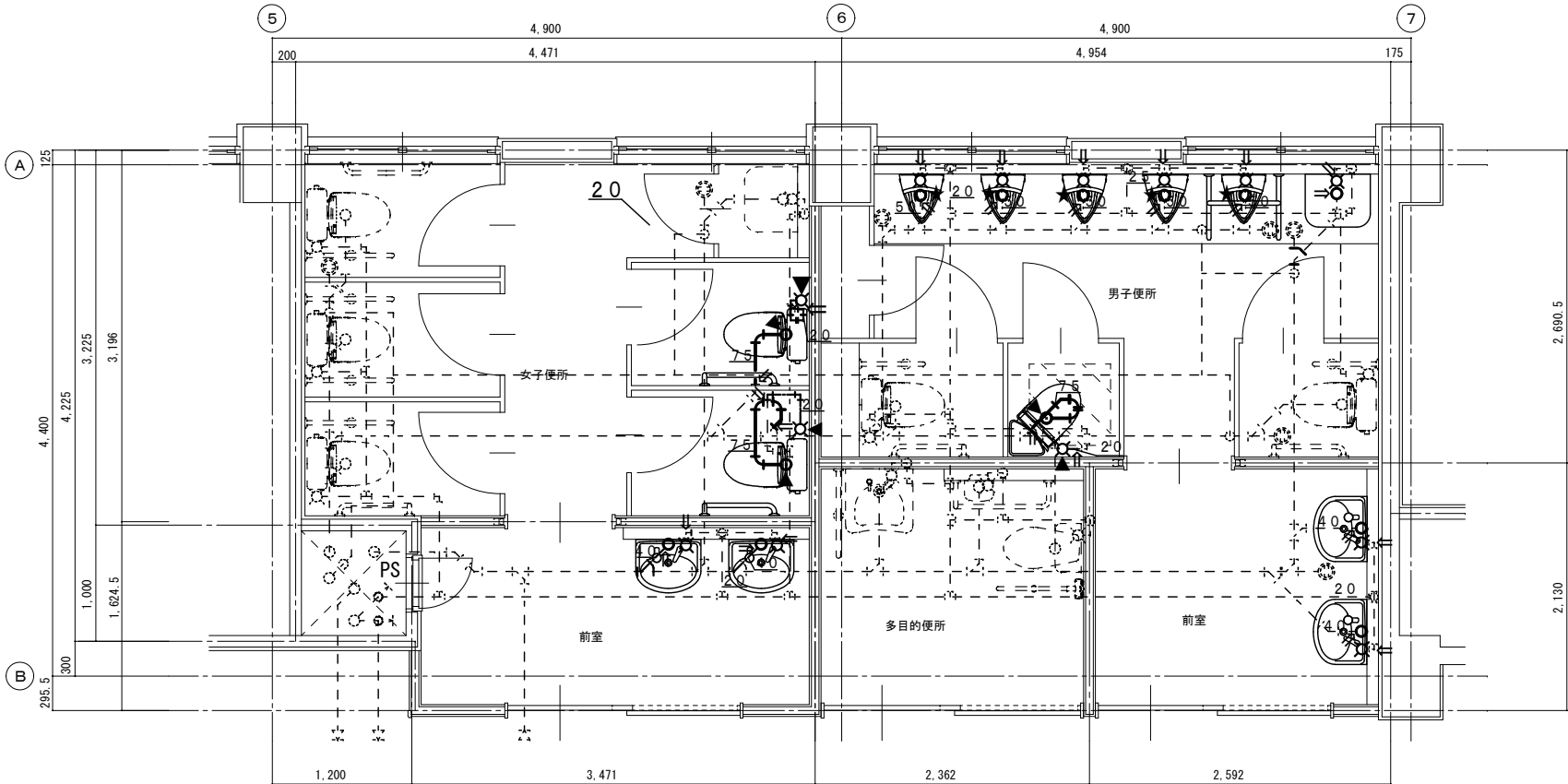
衛生器具及び付属品		男子生徒便所	女子生徒便所
和風大便器	タンク式、紙巻器、付属品共	1	1
耐火カバー		1	1
洋風便器	タンク式、紙巻器、付属品共		1
床置自動洗浄小便器付属品共		5	
小便器用手すり		1	
洗面器	水栓、他付属品共	2	2
掃除流し	他付属品共	1	



2階 生徒用便所平面詳細図：改修前

撤去工事凡例

	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
給水管：その他 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
排水管：硬質塩化ビニル管VP	
通気管：硬質塩化ビニル管VP	
排水器具接続管：排水用鉛管LP	
給湯管：耐熱ライニング鋼管	
ガス管：埋設管 外面被覆鋼管	
ガス管：その他 配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管VP	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁様の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石棉が含有している為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	



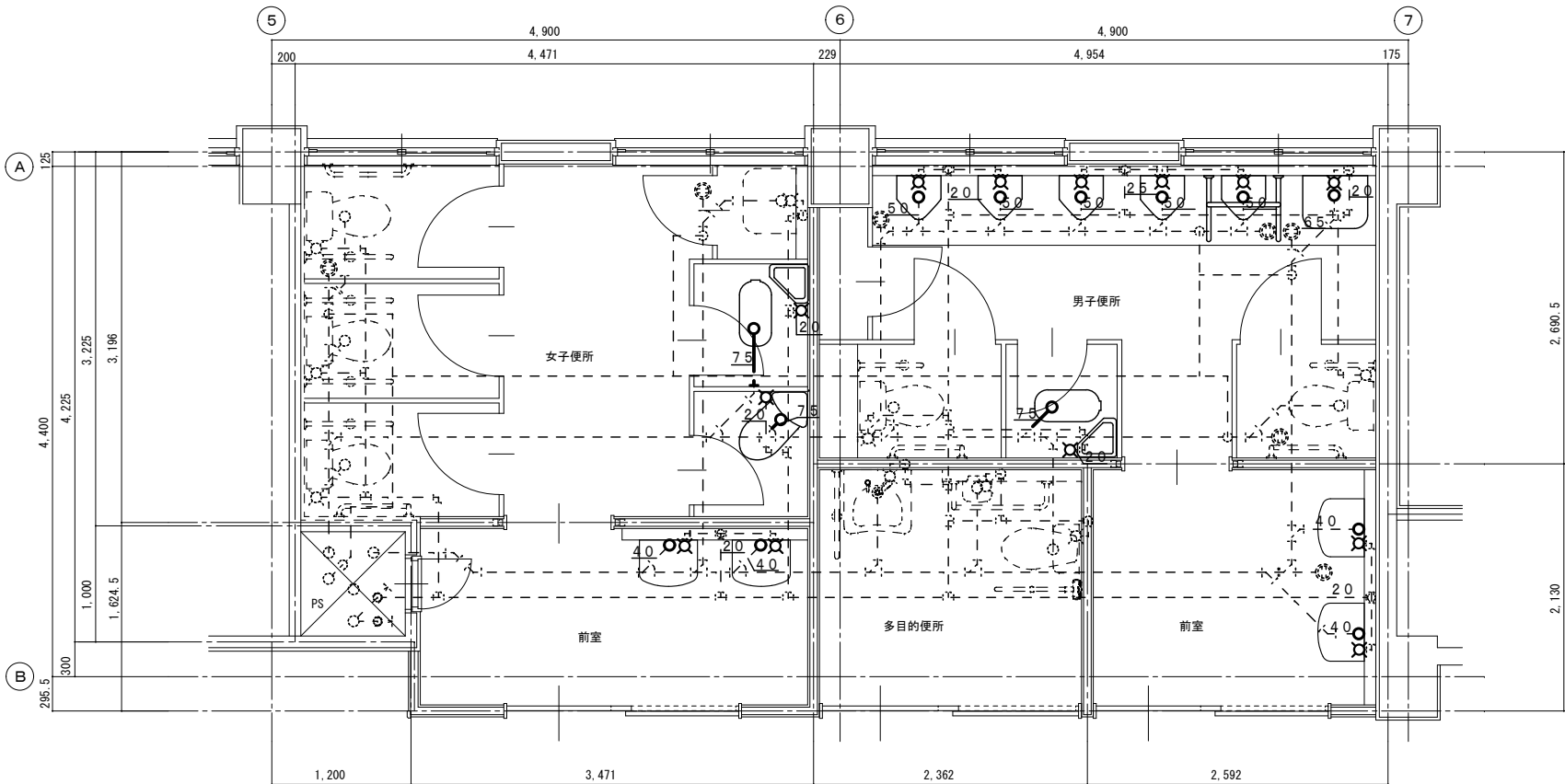
2階 生徒用便所平面詳細図：改修後

改修工事凡例

	今回施工工事を示す
	給水配管
	排水配管
	通気配管
	給湯配管
	ガス配管
	消火配管
	既設のままを示す
	給水栓
	掃除口
	排水金物
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

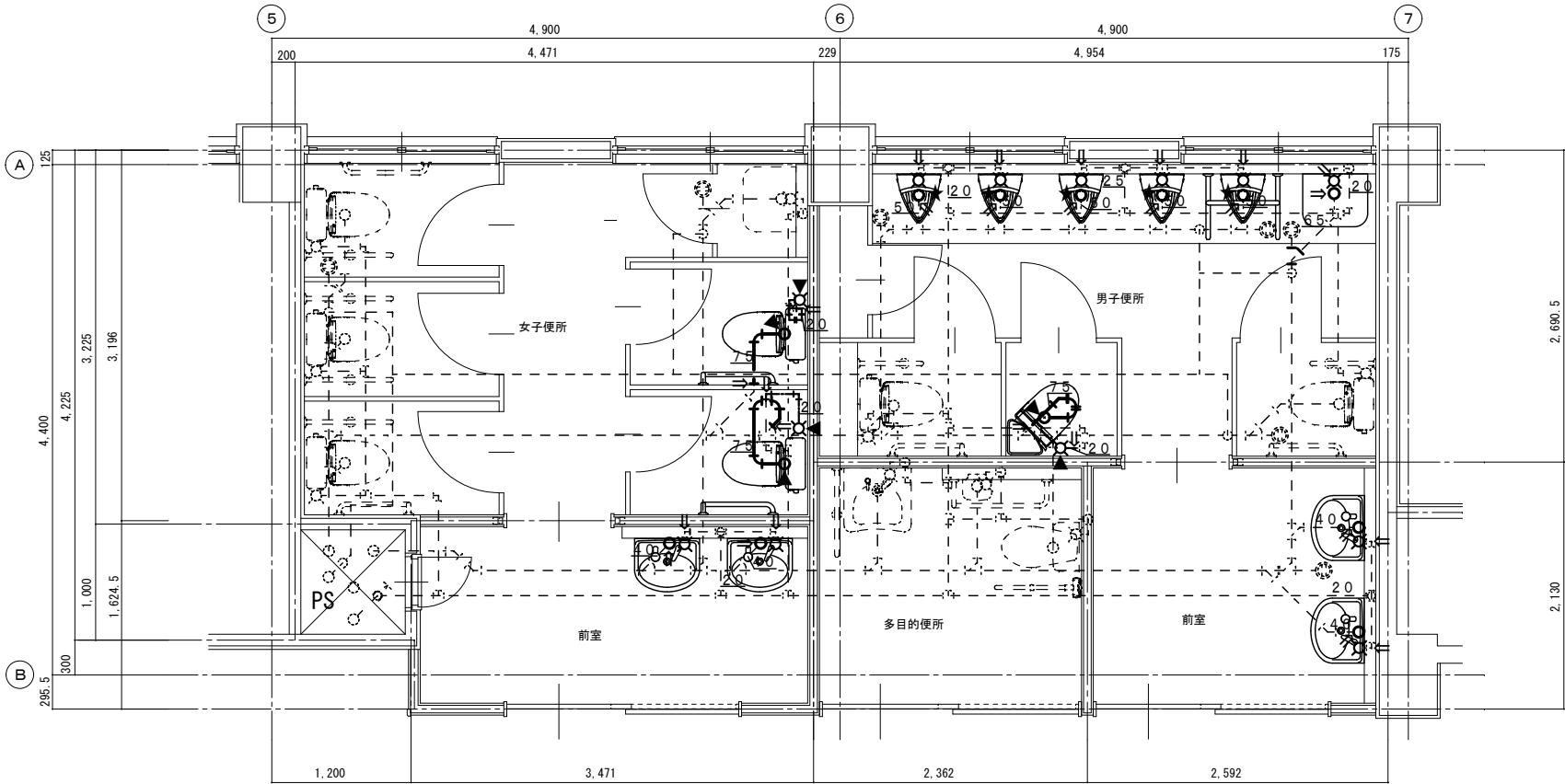
衛生器具類撤去一覧表

衛生器具及び付属品		男子生徒便所	女子生徒便所
和風大便器	タンク式、紙巻器、付属品共	1	1
耐火カバー		1	1
洋風便器	タンク式、紙巻器、付属品共		1
床置自動洗浄小便器付属品共		5	
小便器用手すり		1	
洗面器	水栓、他付属品共	2	2
掃除流し	他付属品共	1	



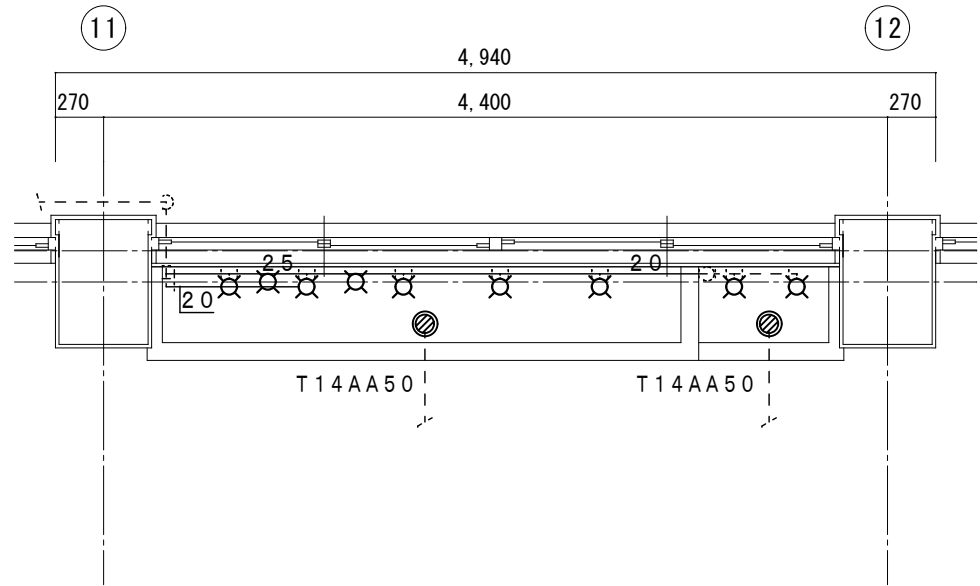
3階 生徒用便所平面詳細図：改修前

撤去工事凡例	
	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
給水管：その他 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
排水管：硬質塩化ビニル管VP	
通気管：硬質塩化ビニル管VP	
排水器具接続管：排水用鉛管LP	
給湯管：耐熱ライニング鋼管	
ガス管：埋設管 外面被覆鋼管	
ガス管：その他 配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管VP	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及び仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁様の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石綿が含まれている為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	

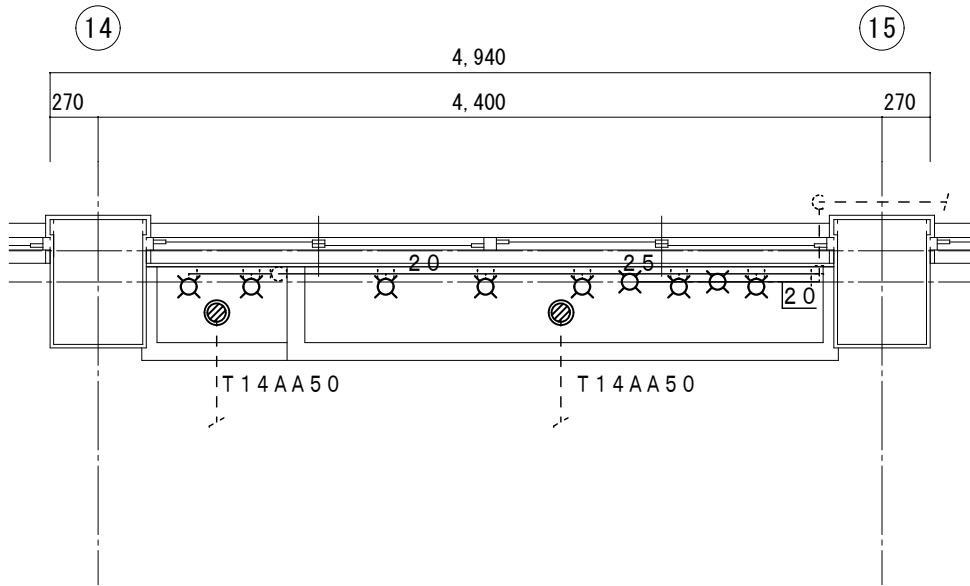


3階 生徒用便所平面詳細図：改修後

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	給水配管
	排水配管
	通気配管
	給湯配管
	ガス配管
	消火配管
	既設のままを示す
	給水栓
	掃除口
	排水金物
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	



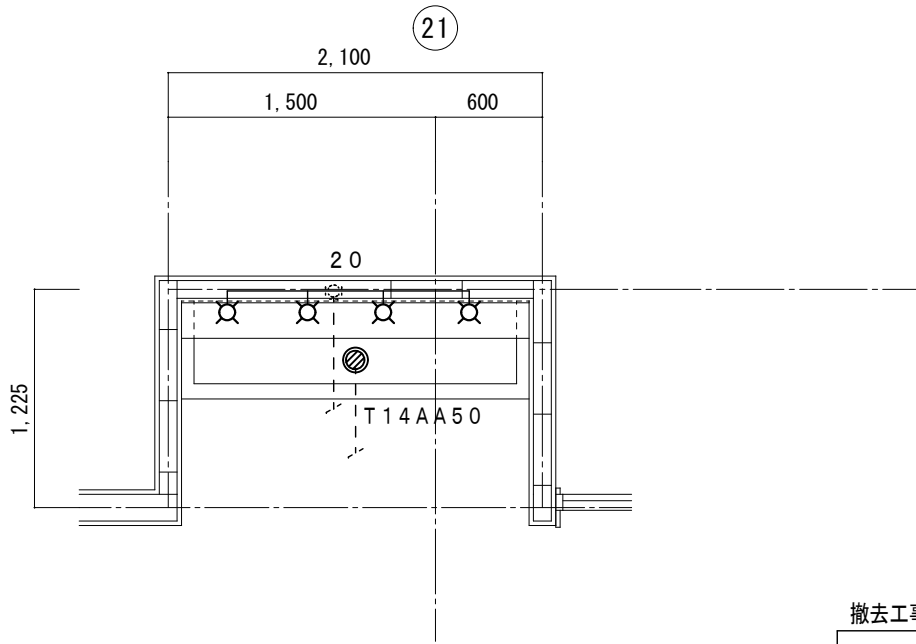
廊下西側手洗い 改修前 平面詳細図



廊下東側手洗い 改修前 平面詳細図

衛生器具類撤去一覧表

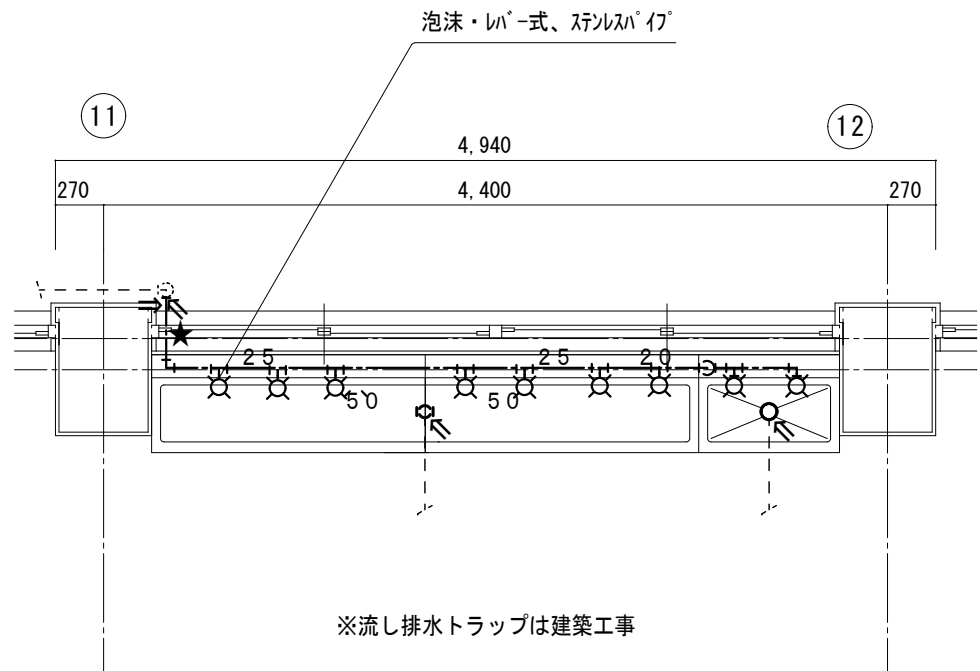
衛生器具及び付属品	廊下西手洗い	廊下東手洗い	昇降口前手洗い
横水栓	7	7	4
水栓	2	2	



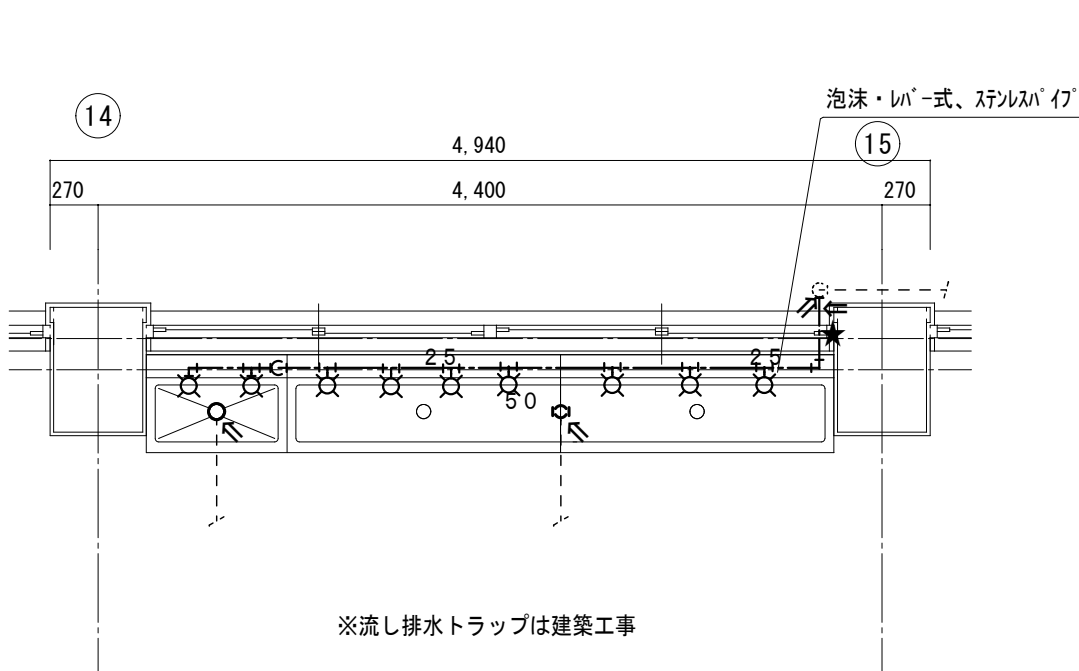
昇降口前手洗い 改修前 平面詳細図

撤去工事凡例

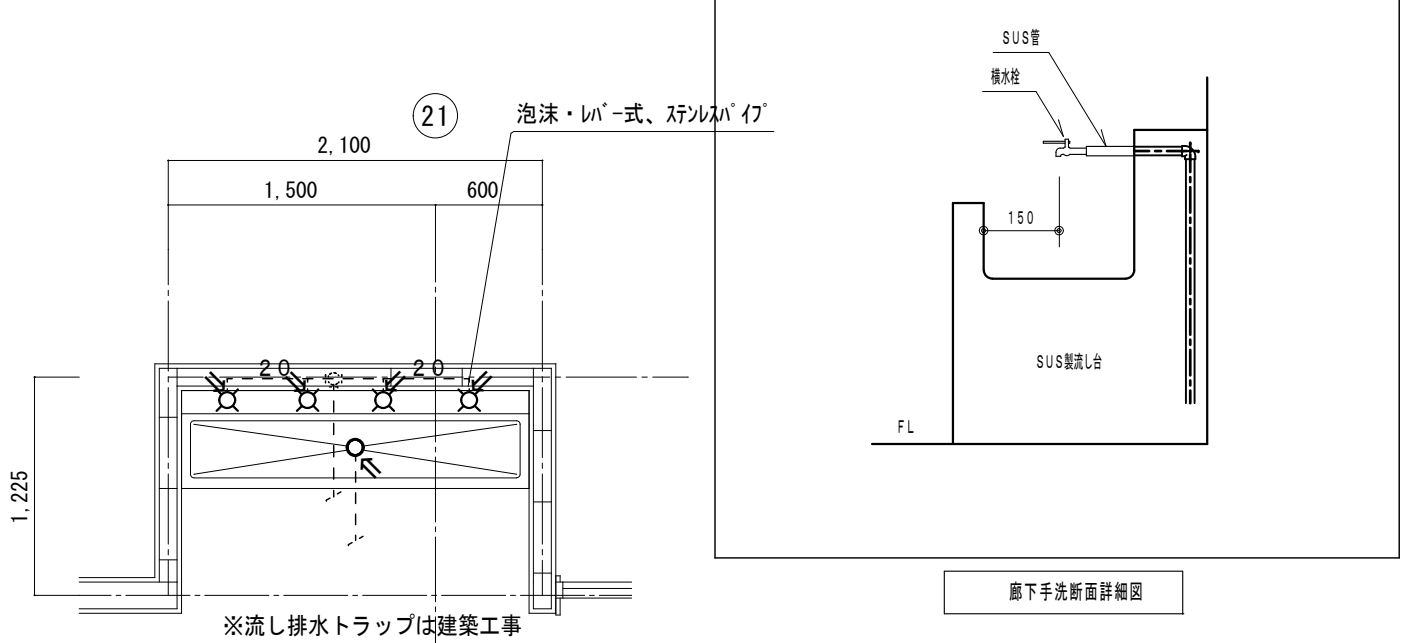
——	今回撤去工事を示す。
- - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
給水管：埋設管 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
給水管：その他 給水用水道用硬質塩ビライニング鋼管	
排水管：硬質塩化ビニル管VP	
通気管：硬質塩化ビニル管VP	
排水器具接続管：排水用鉛管LP	
給湯管：耐熱ライニング鋼管	
ガス管：埋設管 外面被覆鋼管	
ガス管：その他 配管用炭素鋼鋼管	
屋外排水管：硬質塩化ビニル管VP	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	
配管撤去後の床・壁牒の穴埋めは建築工事とする。	
配管の保温材に石綿が含有している為、飛散防止措置を行い適切に撤去する事。	



廊下西側手洗い 改修後 平面詳細図



廊下東側手洗い 改修後 平面詳細図



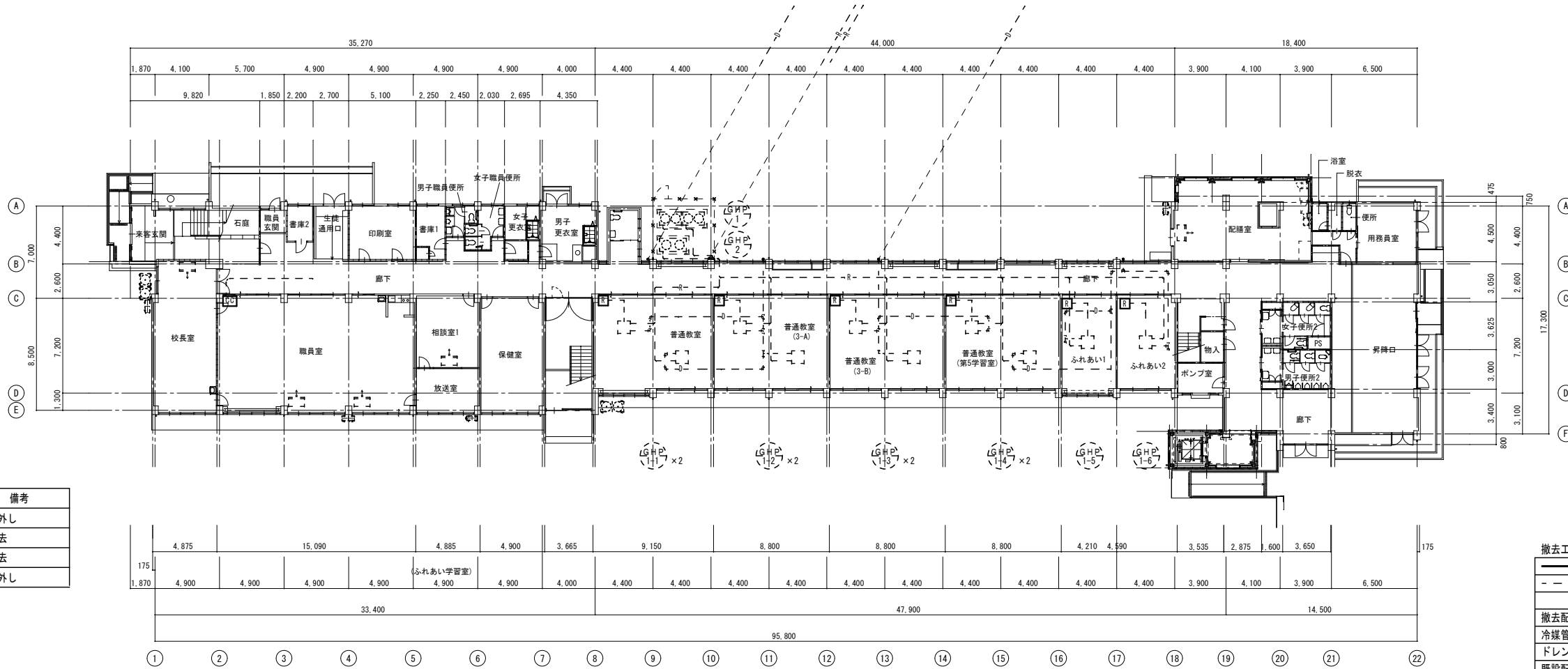
昇降口前手洗い 改修後 平面詳細図

改修工事凡例

——	今回施工工事を示す
- - - -	給水配管
——	排水配管
- - - - -	通気配管
— —	給湯配管
—G—	ガス配管
—X—	消火配管
- - - - -	既設のままを示す
⊗	給水栓
—⊗—	掃除口
—⊙—	排水金物
⇐	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	

普通教室

機器名	備考
リモコンスイッチ	取外し
1種金属線び：MM 1	撤去
1種金属線び：MM 1（コーナーボックス）	撤去
リモコン配線	取外し



1 階平面図（改修前） S=1:200

撤去工事凡例

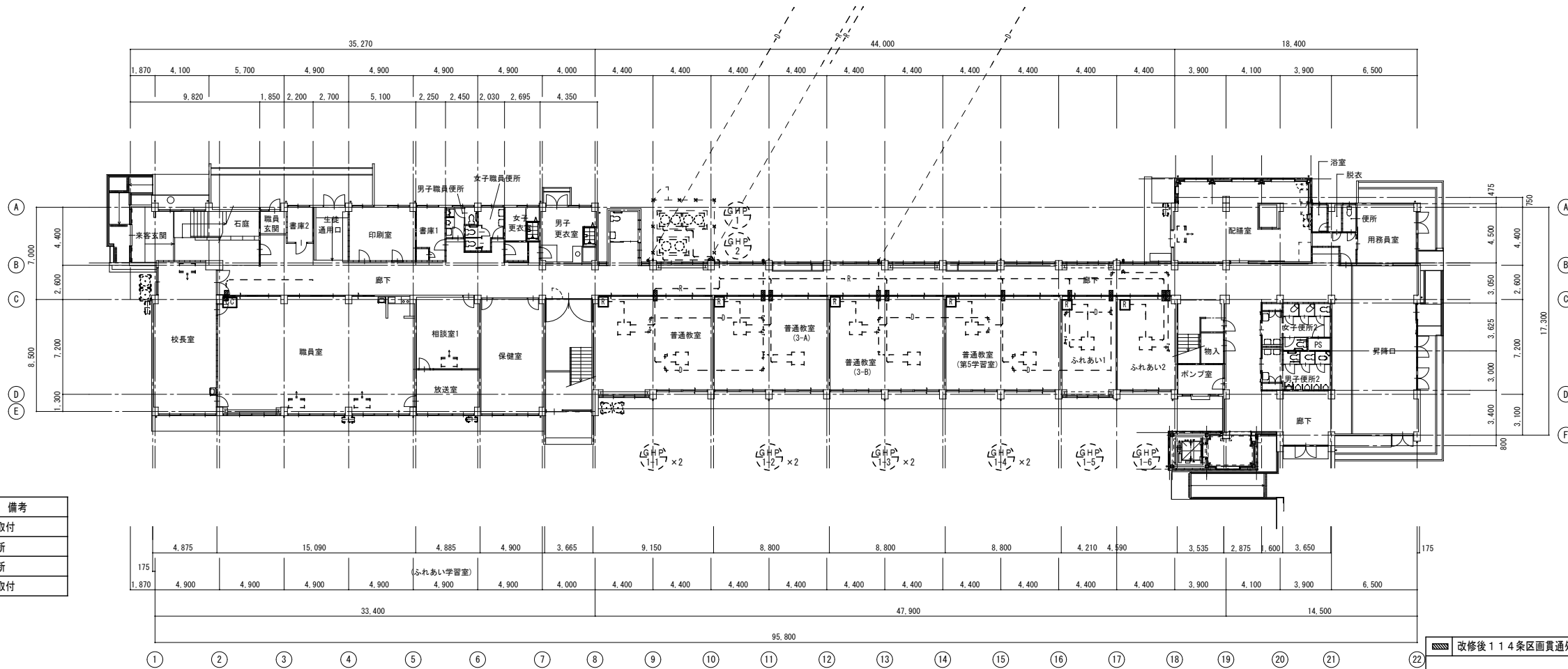
—	今回撤去工事を示す。
- - -	既設を示す。

撤去配管リスト

冷媒管：冷媒用保温付被覆銅管
ドレン管：結露防止用保温付硬質ポリ塩化ビニル管
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。

普通教室

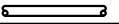
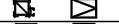
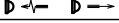
機器名	備考
リモコンスイッチ	再取付
1種金属線び：MM 1	更新
1種金属線び：MM 1（コーナーボックス）	更新
リモコン配線	再取付



1 階平面図（改修後） S=1:200

改修後 1 1 4 条区画貫通処理施工箇所（建築工事）

衛生凡例

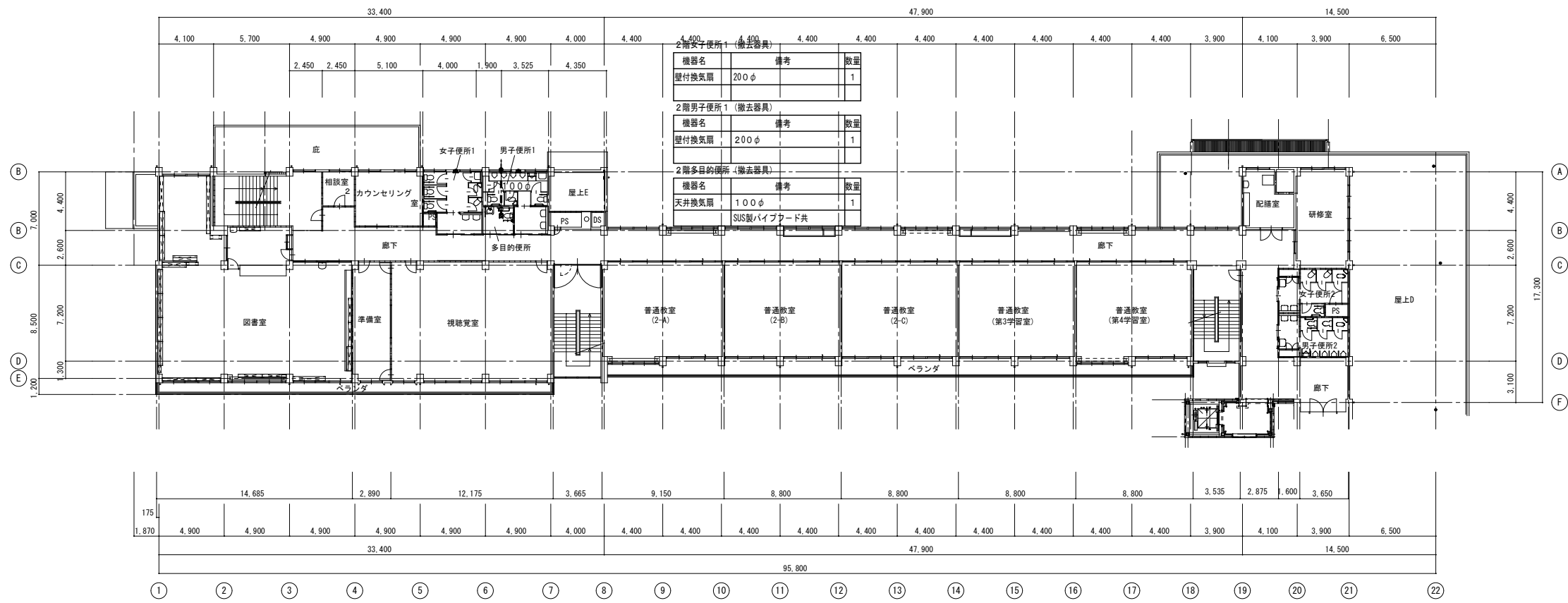
記号	名称	記号	名称
	スパイラルダクト		
	天井換気扇・排気ファン		
	吹出・吸込口		
	パイプフード		

換気機器表

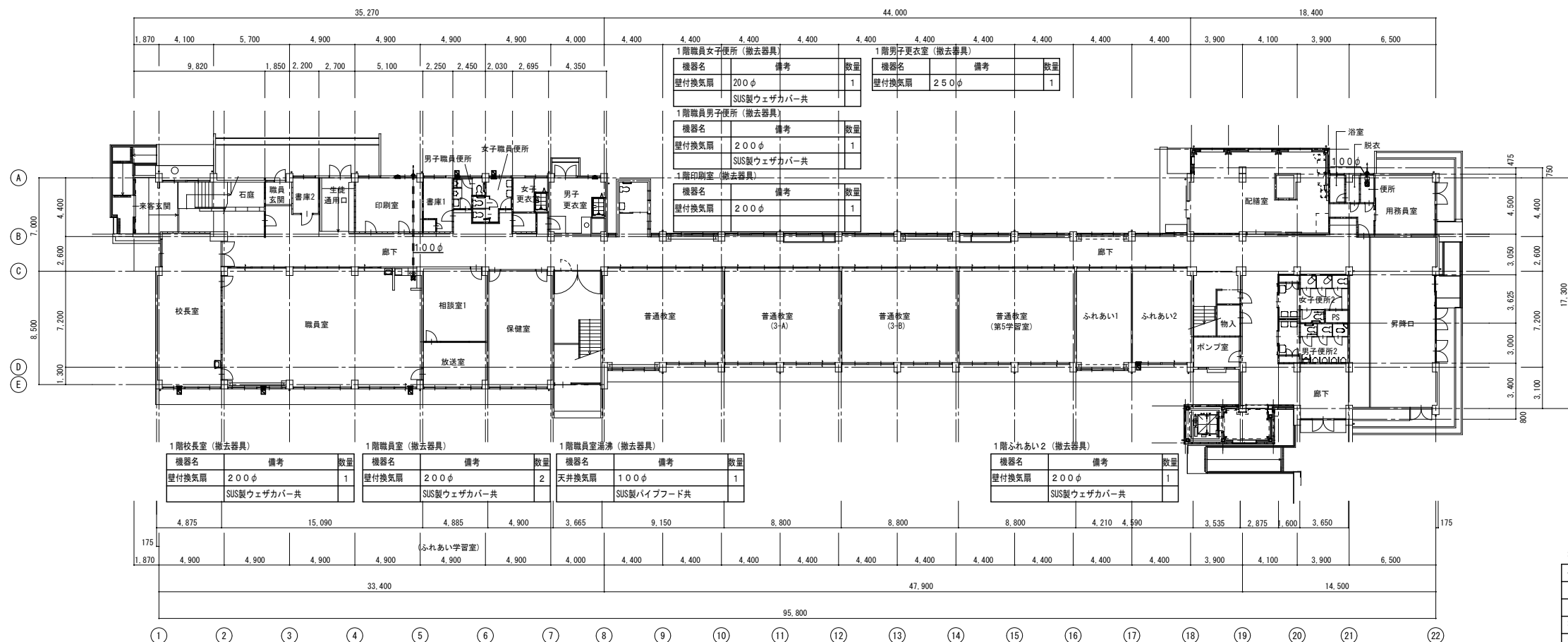
記号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (W)		
V F-1	排風機	形式 天井換気扇・低騒音形：銅板製ボディ	1	100	36.0	1	設置場所：1階職員湯沸室
		風量 200 m3/h					参考品番：VD-18ZY3
		ダクト径 100 φ					(三菱電機)
		静圧 50 Pa					
		付属品 天吊防振金具、その他付属品共					
	パイプフード	形式 SUS製深形パイプフード100φ：ガラリ付				1	
V F-2	排風機	形式 天井換気扇・低騒音形：銅板製ボディ	1	100	23.0	2	設置場所：2、3階多目的便所
		風量 150 m3/h					参考品番：VD-15ZP14
		ダクト径 100 φ					(三菱電機)
		静圧 60 Pa					
		付属品 天吊防振金具、その他付属品共					
	パイプフード	形式 SUS製深形パイプフード100φ：ガラリ付				2	
V F-3	排風機	形式 天井換気扇・低騒音形：銅板製ボディ	1	100	23.0	1	設置場所：1階便所
		風量 70 m3/h					参考品番：VD-10Z14
		ダクト径 100 φ					(三菱電機)
		静圧 30 Pa					
		付属品 天吊防振金具、その他付属品共					
	パイプフード	形式 SUS製深形パイプフード100φ：ガラリ付				1	
F E-1	排風機	形式 壁付換気扇（窓枠据付格子タイプ）	1	100	38.0	7	設置場所：1階校長室、職員室
		低騒音形（電気式シャッタータイプ、樹脂製羽根）					1階印刷室、女子職員便所
		風量 500 m3/h					1階ふれあい2、3階準備室
		羽根径 200 φ					参考品番：EX-20SC4-S
		付属品 化粧枠、SUS製ウエザカバー：防鳥網付、その他付属品共					(三菱電機)
F E-2	排風機	形式 壁付換気扇（窓枠据付格子タイプ）	1	100	38.0	1	設置場所：1階男子更衣室
		低騒音形（電気式シャッタータイプ、樹脂製羽根）					参考品番：EX-25SC4-S
		風量 860 m3/h					(三菱電機)
		羽根径 250 φ					
		付属品 化粧枠、SUS製ウエザカバー：防鳥網付、その他付属品共					
F E-3	排風機	形式 壁付換気扇（格子タイプ）	1	100	13.5	5	設置場所：1階男子職員便所
		低騒音形（電気式シャッタータイプ、樹脂製羽根）					2階男子・女子便所1
		風量 480 m3/h					3階男子・女子便所1
		羽根径 200 φ					参考品番：EX-20EK9-C
		付属品 木枠、SUS製ウエザカバー：防鳥網付、その他付属品共					(三菱電機)
電源容量は参考数値とする。							

換気計算書

階数	室名称	面積 (m2)	天井高 (m)	室容積 (m3)	換気 種別	換気設備											
						建築基準法			人員による算出		換気回数法		火気使用計算		シックハウス法		選定風量 (m3/h)
						N値 (m2/人)	人数 (人)	風量 (m3/h) 2.0Af/N	人数 (人)	風量 (m3/h) 3.0	換気回数 (回/h)	風量 (m3/h)	対象	風量 (m3/h)	換気回数 (回/h)	風量 (m3/h)	
1階	校長室	55.78	3.00	167.34	第3種	10.0	4	112	4	120					0.3	50.20	500
	職員室	132.20	3.00	396.60	第3種	5.7	23	464	23	690					0.3	118.98	1000
	職員室湯沸	3.48	2.40	8.35	第3種						15.0	125.0			0.3	2.51	200
	印刷室	21.29	2.62	55.78	第3種						5.0	279.0			0.3	16.73	500
	女子更衣室：UB	1.57	2.10	3.30	第3種						15.0	50.0			0.3	0.99	70
	男子更衣室	16.50	3.685	60.80	第3種						10.0	608.0			0.3	18.24	860
	女子更衣室：UB	1.57	2.10	3.30	第3種						15.0	50.0			0.3	0.399	70
	職員女子便所	8.02	2.60	20.85	第3種						10.0	209.0			0.3	6.26	500
	職員男子便所	5.06	2.60	13.16	第3種						10.0	131.0			0.3	3.95	480
	ふれあい2	33.05	3.00	99.15	第3種	10.0	5	66	5	150					0.3	29.75	500
	便所（用務員室）	2.39	2.45	5.86	第3種						10.0	59.0			0.3	1.76	70
2階	女子便所1	14.35	2.65	38.03	第3種						10.0	380.0			0.3	11.41	480
	男子便所1	13.33	2.65	35.32	第3種						10.0	353.0			0.3	10.60	480
	多目的便所	5.03	2.65	13.33	第3種						10.0	133.0			0.3	4.00	150
3階	女子便所1	14.35	2.65	38.03	第3種						10.0	380.3			0.3	11.41	480
	男子便所1	13.33	2.65	35.32	第3種						10.0	353.0			0.3	10.60	480
	多目的便所	5.03	2.65	13.33	第3種						10.0	133.0			0.3	4.00	150
	準備室	29.09	3.00	87.27	第3種						5.0	436.0			0.3	26.81	500



2階平面図（改修前） S=1:200



1階平面図（改修前） S=1:200

1階便所（撤去器具）		
機器名	備考	数量
天井換気扇	100φ	1
SUS製パイプフード共		

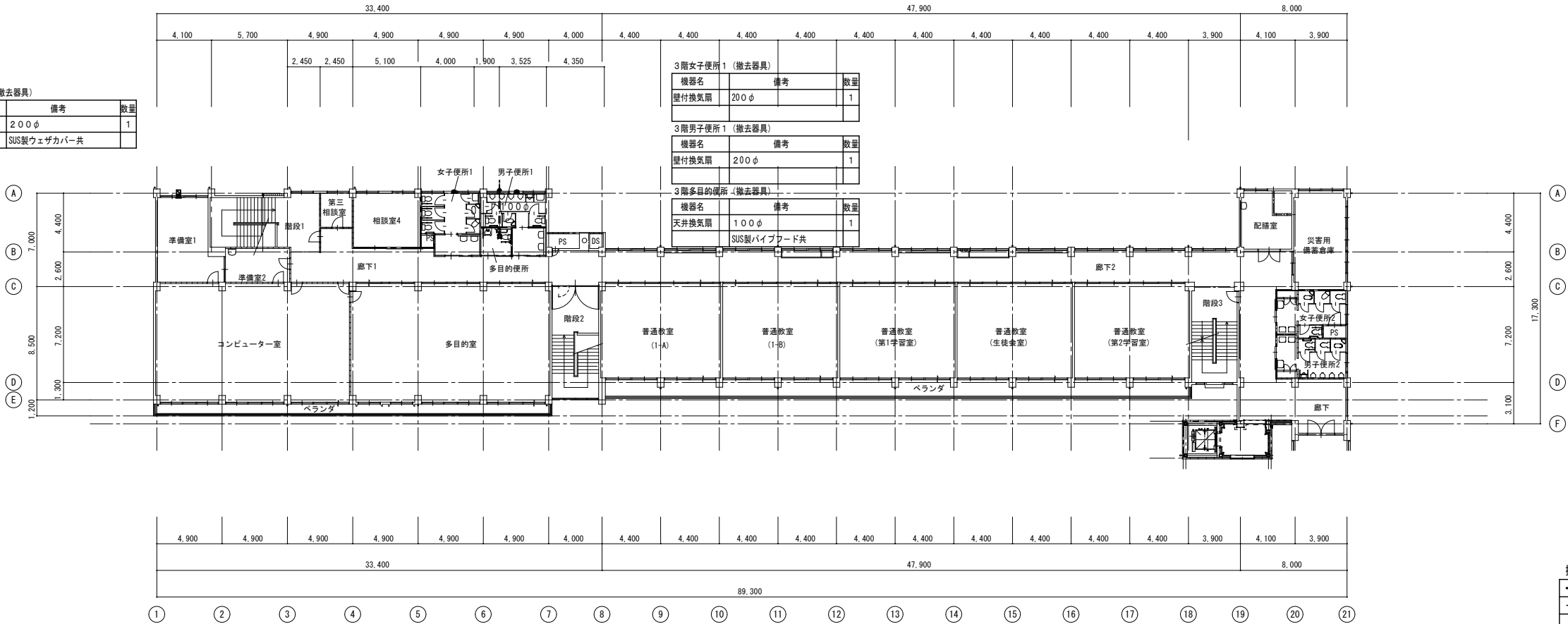
撤去工事凡例	
	今回撤去工事を示す。
	既設を示す。
撤去配管リスト	
換気ダクト：スパイラルダクトSD	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
天井解体撤去は建築工事とする。建築図参照	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

3階準備室（撤去器具）		
機器名	備考	数量
壁付換気扇	200φ	1
	SUS製ウェザカバー共	

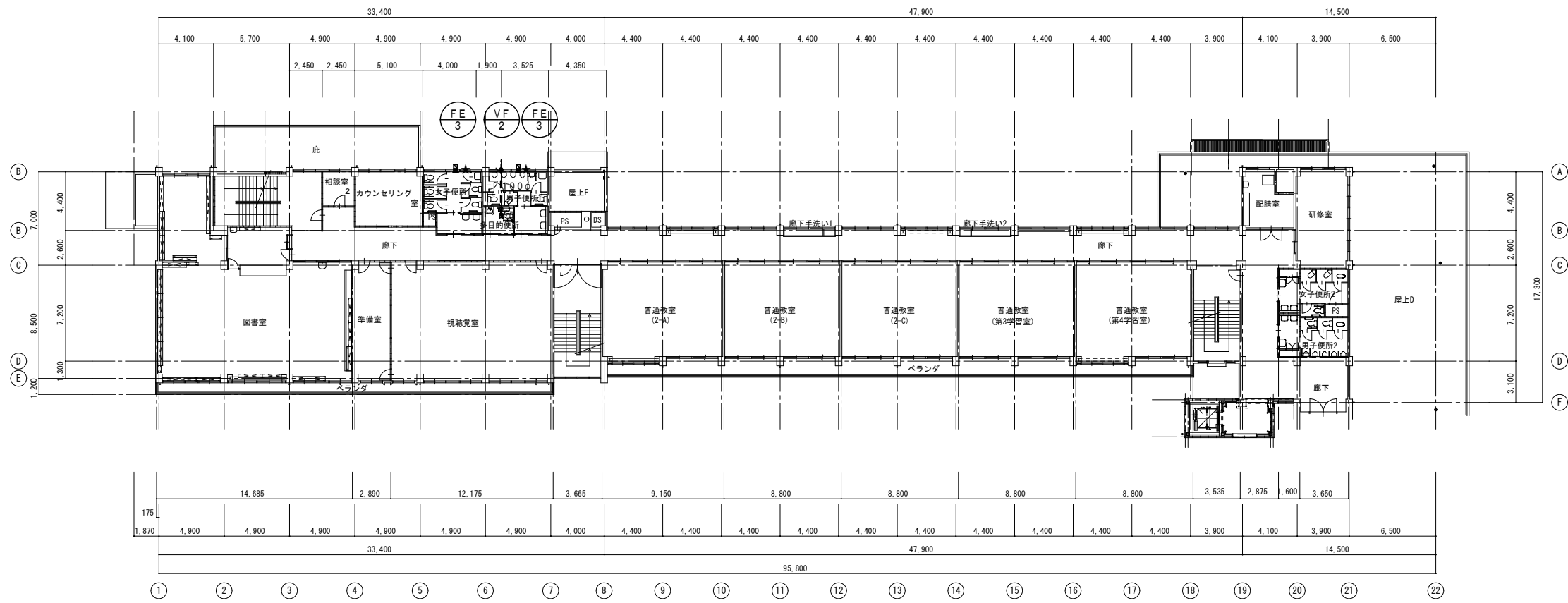
3階女子便所1（撤去器具）		
機器名	備考	数量
壁付換気扇	200φ	1

3階男子便所1（撤去器具）		
機器名	備考	数量
壁付換気扇	200φ	1

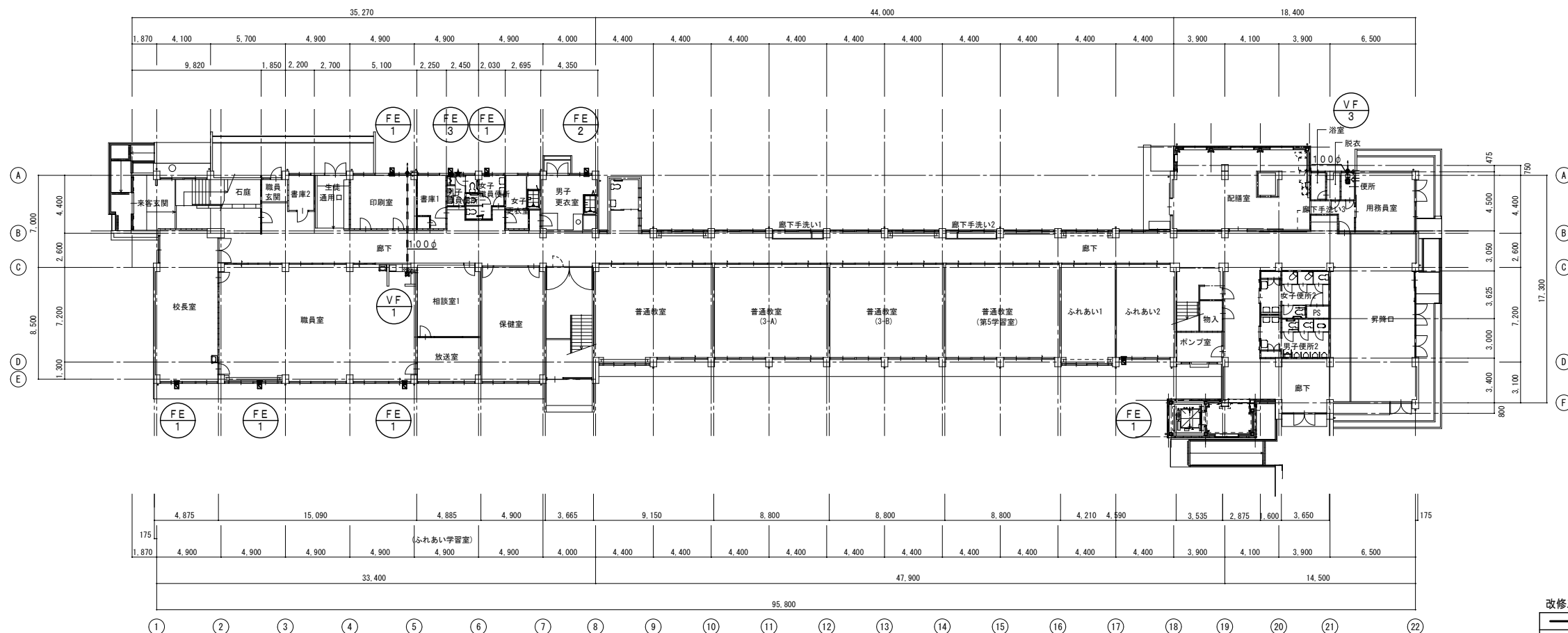
3階多目的便所（撤去器具）		
機器名	備考	数量
天井換気扇	100φ	1
	SUS製パイプフード共	



撤去工事凡例	
——	今回撤去工事を示す。
- - - -	既設を示す。
撤去配管リスト	
換気ダクト：スパイラルダクトSD	
既設配管サイズ、ルートは参考とし、現場確認の上施工の事。	
既存梁・床・壁貫通配管の撤去は手はつり補修とする。	
天井解体撤去は建築工事とする。建築図参照	
土間はつり及仕上げの撤去は建築工事とする。建築図参照	

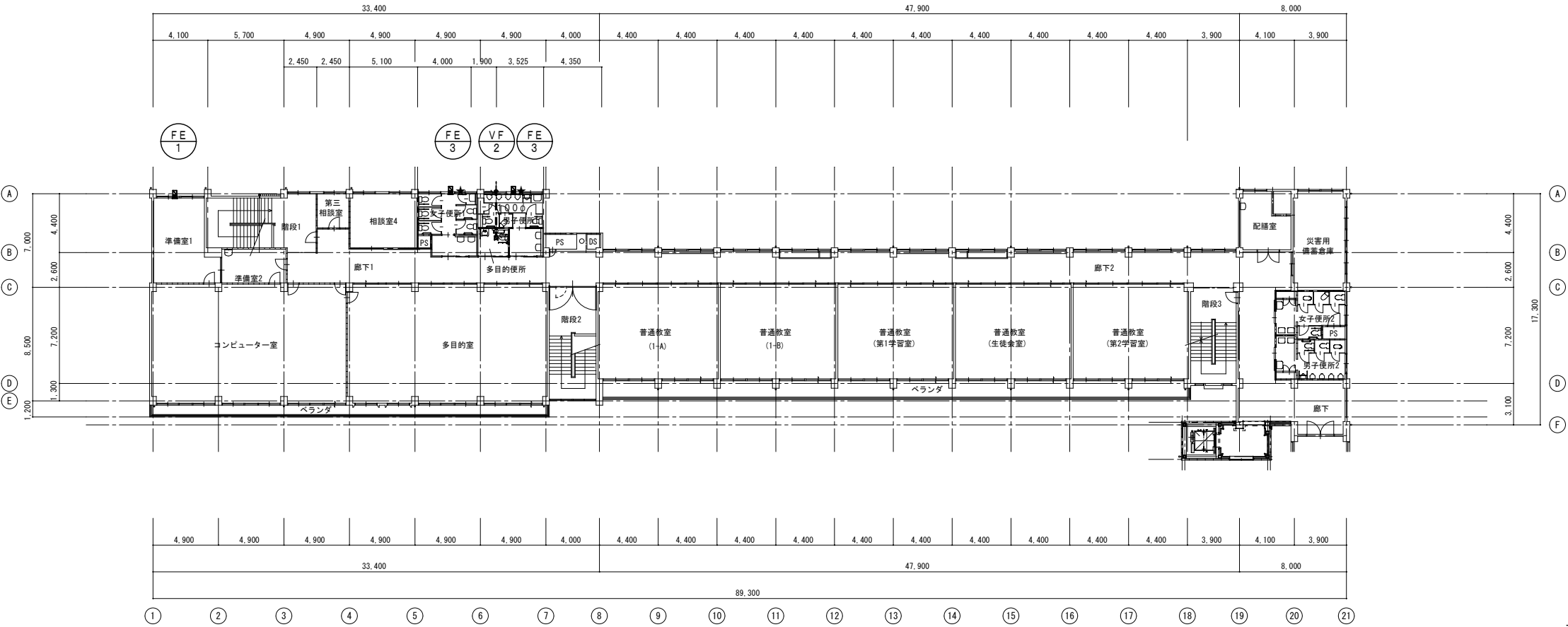
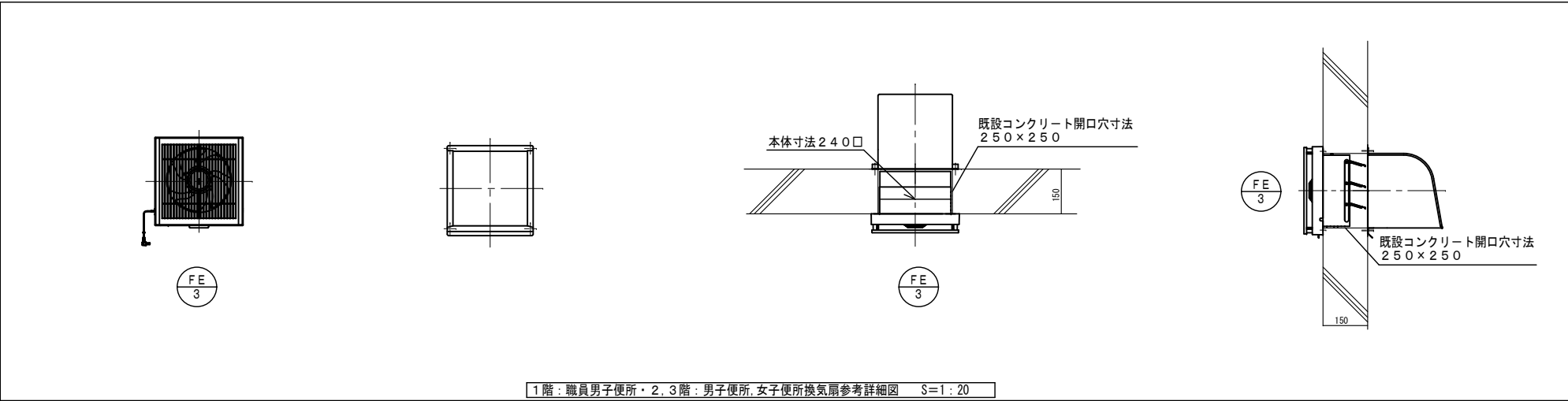


2階平面図（改修後） S=1:200



1階平面図（改修後） S=1:200

改修工事凡例	
	今回施工工事を示す
	既設のままを示す
	既設配管接続箇所を示す
	コア抜き貫通箇所を示す
	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	



改修工事凡例	
—	今回施工工事を示す
- - - -	既設のままを示す
←	既設配管接続箇所を示す
◀	コア抜き貫通箇所を示す
★	既設貫通箇所を示す
躯体貫通箇所は既設スリーブを優先に使用すること。	